LP-S510
ユーザーズガイド

NPD4224-00

©SEIKO EPSON CORPORATION 2010. All rights reserved.

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は､特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版

Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System 日本語版

Microsoft® Windows Server® 2008 Operating System 日本語版

Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版

本書では、各オペレーティングシステムをそれぞれ Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Vista、Windows7 と表記しています。また、これらを総称名として「Windows」を使用しています。

商標

EPSON、EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはセイコーエプソン株式会社（以下、「エプソン」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア（以下、「プリンティングソフトウェア」）、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスをエプソンにより付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人に本ソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様は本ソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべてエプソンおよびそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行にしたがって使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。

9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. エプソンおよびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。エプソンおよびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス・家庭環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

印刷されたものの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- 印刷されたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒印刷に比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

もくじ

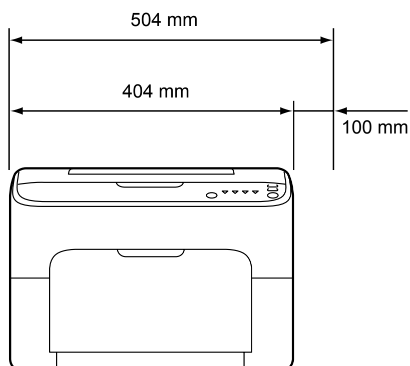
1 はじめに

お使いになる前に

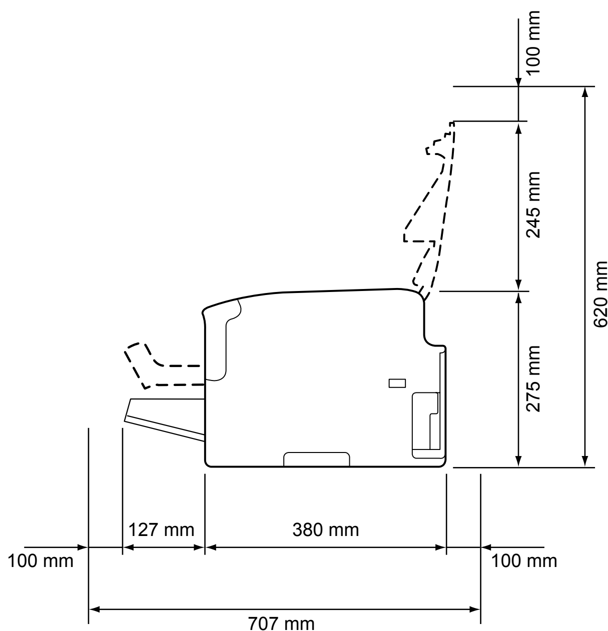
設置スペース

プリンタ操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

正面図



右側面図

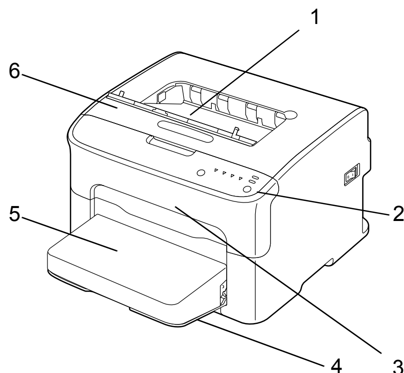


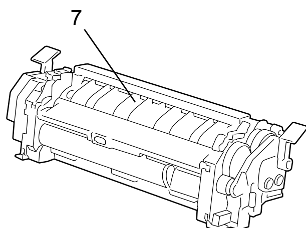
各部の名称

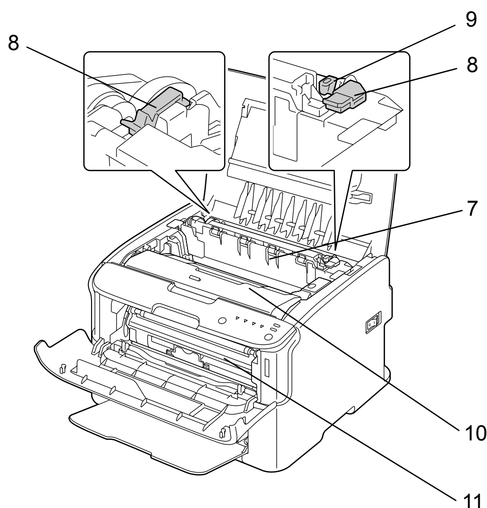
以下の図は、本書で使用しているプリンタ各部の名称を示しています。

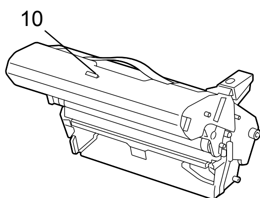
前面

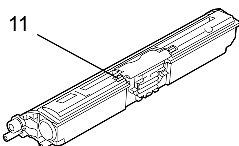
1 排紙トレイ
2 操作パネル
3 前カバー
4 トレイ 1（多目的トレイ）
5 ダストカバー
6 上カバー
7 定着ユニット
8 定着離間レバー
9 定着カバーレバー
10 感光体ユニット
11 トナーカートリッジ









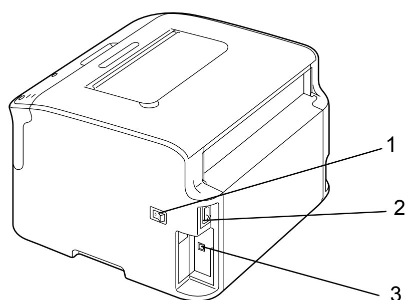


背面

1　電源スイッチ

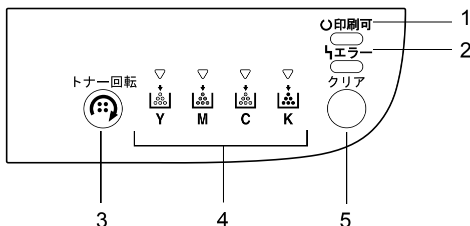
2　電源インレット

3　USB ポート



操作パネルについて

1［印刷可］ランプ
2［エラー］ランプ
3［トナー回転］キー
4［トナー］ランプ
5［クリア］キー



ランプについて

ランプは、以下の 5 種類の動作でプリンタの状態を確認することができます。

■ オフ
■ 点灯
■ ゆっくり点滅：2 秒に 1 回点滅
■ 点滅：1 秒に 1 回点滅
■ すばやく点滅：1 秒に 2 回点滅

各ランプの基本的な意味は、次のとおりです。

■ ［印刷可］ランプ
点灯している場合、印刷を実行できます。
■ ［エラー］ランプ
点灯または点滅している場合、エラーまたは警告が発生しています。
■ ［トナー］ランプ
点滅している場合、該当する色のトナーの残量が少なくなっています。
点灯している場合、該当する色のトナーの残量がなくなりました。

また、操作パネルのランプの光りかたの組み合わせによって、プリンタの警告状態やエラー状態が通知されることがあります。このようなメッセージについては、「ランプによるメッセージ」（p.103）をごらんください。

プリンタの状態は、リモートパネルプログラムを使用して確認することもできます。

詳しくは、「リモートパネルプログラムの使いかた」（p.36）をごらんください。



［トナー回転］キーについて

［トナー回転］キーを使用すると、プリンタの状態を通常モードから「トナー交換モード」、「プリントヘッド清掃モード」、「トナー取り出しモード」のいずれかのモードに切り替えることができます。

切り替わるモードは、［トナー回転］キーを押している長さによって変わります。

［トナー回転］キーを押している長さ	切り替わるモード	操作パネルのランプ表示
5 秒未満	トナー交換モード	―
5 秒～ 9 秒	プリントヘッド清掃モード	5 秒経過時に、すべてのランプが 1 回点滅
10 秒以上	トナー取り出しモード	10 秒経過時に、すべてのランプが 1 回点滅



いずれの場合も動作モードが切り替わると、マゼンタのトナーランプが点灯します。

［トナー回転］キーは、次の場合に使用します。

- トナーカートリッジを交換する場合
- プリントヘッドの清掃を行う場合
- すべてのトナーカートリッジを取り出す場合

トナーカートリッジを交換する場合

［トナー回転］キーを押します。

プリンタの動作モードが「トナー交換モード」に切り替わります。



トナーカートリッジの交換については「トナーカートリッジの交換手順」（p.69）をごらんください。



「トナー交換モード」から通常のモードに戻るには、［クリア］キーを押します。

プリントヘッドの清掃を行う場合

［トナー回転］キーを 5 ～ 9 秒間、押し続けてから離します。

プリンタの動作モードが「プリントヘッド清掃モード」に切り替わります。



プリントヘッドの清掃については、「プリントヘッドの清掃」（p.90）をごらんください。



「プリントヘッド清掃モード」から通常のモードに戻る方法については、「プリントヘッドの清掃」（p.90）をごらんください。



「プリントヘッド清掃モード」は、ユーザーがプリントヘッドを清掃しやすくするためのモードです。自動的にプリントヘッドが清掃されるわけではありません。

すべてのトナーカートリッジを取り出す場合

［トナー回転］キーを 10 秒以上押し続けてから離します。

プリンタの動作モードが「トナー取り出しモード」に切り替わります。



すべてのトナーカートリッジを取り出す方法については、「すべてのトナーカートリッジを取り出す方法」（p.75）をごらんください。



「トナー取り出しモード」から通常のモードに戻るには、［クリア］キーを押します。

［クリア］キーについて

［クリア］キーを使用して次のことができます。

- エラーメッセージが表示された後にプリントジョブを継続する
- プリントジョブをキャンセルする
- トナーカートリッジを交換した後に印刷可能状態に戻る



トナーカートリッジ交換後の復帰方法については「トナーカートリッジの交換手順」（p.69）をごらんください。

エラーメッセージが表示された後にプリントジョブを継続する

以下の種類のエラーを解除した後にプリントジョブを続けることができます。

- 給紙トレイの用紙がなくなった場合
- プリンタドライバで設定された用紙と異なる用紙がプリンタへ給紙された場合



エラーメッセージについて詳しくは、「ランプによるメッセージ」（p.103）をごらんください。

上記のいずれかのエラーが発生した場合、［クリア］キーを押すと、プリントジョブを継続できます。

プリントジョブのキャンセル

現在処理中のプリントジョブをキャンセルすることができます。

データの処理中または印刷中に（緑の［印刷可］ランプ点滅中に）、［クリア］キーを 5 秒以上押し続けると、プリントジョブをキャンセルできます。

キャンセルを受け付けると、［印刷可］ランプと［エラー］ランプの両方が同時に点滅します。

ソフトウェアについて

2

ソフトウェアディスクについて

プリンタドライバ

プリンタドライバ	機能
Windows Vista/XP/Server 2003/2000/Windows 7/Windows Server 2008	プリンタのさまざまな機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタドライバ設定画面を表示する」（p.22）をごらんください。
Windows Vista/XP/Server 2003/Windows 7/Windows Server 2008 for 64bit	



ドライバのインストールについては、「インストレーションガイド」をごらんください。

ユーティリティ

ユーティリティ	機能
リモートパネルプログラム	リモートパネルプログラムでは、プリンタと接続しているコンピュータからプリンタの状態を確認できます。また、プリンタの設定を変更することができます。 詳しくは、「リモートパネルプログラムの使いかた」（p.36）をごらんください。

マニュアル

マニュアル	内容
インストレーションガイド	本プリンタの設置やドライバのインストールなど、本機を使用する際に最初に必要な事項を説明しています。
ユーザーズガイド（本書）	ドライバの使いかたや消耗品の交換方法、操作パネルの使いかたなど、日常の使いかた全般について説明しています。

必要なシステム

■ コンピュータ：
Pentium 2：400 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機
（Pentium 3：500 MHz 以上を推奨）

■ オペレーティングシステム：
- 32bit
  Microsoft Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise, Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 1 以降；Service Pack 2 以降を推奨）, Windows Server 2003, Windows 2000（Service Pack 4 以降）, Windows 7 Home Basic/Home Premium/Home Professional/Home Ultimate, Windows Server 2008
- 64bit
  Microsoft Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition, Windows XP Professional x64 Edition, Windows Server 2003 x64 Edition, Windows 7 Home Basic/Home Premium/Home Professional/Home Ultimate x64 Edition, Windows Server 2008



64bit ドライバは、AMD64 プロセッサまたは、EM64T 搭載の Intel プロセッサが稼動する x64 オペレーティングシステムに対応しています。



Windows 7/ Windows Server 2008はWindows Vistaと同様の操作になります。

■ 空きハードディスク容量：
- 約 256 MB 以上

■ メモリ：
OS が推奨する以上の RAM

■ CD/DVD-ROM ドライブ

■ インターフェース：
- USB 2.0 (High Speed) 準拠インターフェースポート

プリンタドライバの初期設定

本プリンタを使い始める前に、プリンタドライバの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。



プリンタドライバのインストールについては「インストレーションガイド」をごらんください。

1 以下の手順でプリンタドライバの設定画面を表示します。

– Windows Vista の場合

［スタート］メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「EPSON LP-S510」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows XP Home Edition の場合

［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「EPSON LP-S510」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows XP Professional/Sever 2003 の場合

［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「EPSON LP-S510」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows 2000 の場合

［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「EPSON LP-S510」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」を選択します。

2 「基本設定」タブをクリックし使用する用紙の種類やサイズなど、プリンタの初期設定を変更します。



各タブの設定項目については「プリンタドライバの設定」（p.23）をごらんください。

3 ［適用］をクリックします。

4 ［OK］をクリックし、印刷の設定画面を閉じます。

プリンタドライバのアンインストール

プリンタドライバのアンインストールを行うには、コンピュータの管理者権限が必要です。

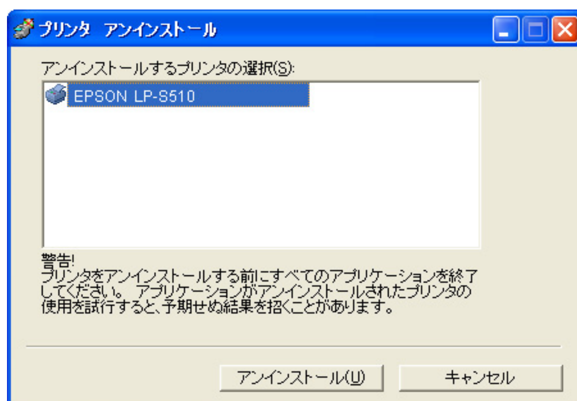
Windows Vista を使用時に「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「許可」または「続行」をクリックします。

ここでは、プリンタドライバをアンインストールする場合の手順について説明します。

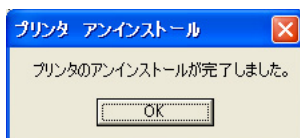
1 以下の手順でアンインストールプログラムを起動します。

- **Windows Vista/XP/Server 2003 の場合**：［スタート］メニューから「すべてのプログラム」—「EPSON」—「LP-S510」—「プリンタ」—「アンインストール」をクリックします。
- **Windows 2000 の場合**：［スタート］メニューから「プログラム」—「EPSON」—「LP-S510」—「プリンタ」—「アンインストール」をクリックします。

2 アンインストール画面で「EPSON LP-S510」を選択し、［アンインストール］をクリックします。



3 下図のような画面が表示されたら、［OK］をクリックします。



プリンタドライバ設定画面を表示する

Windows Vista

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「EPSON LP-S510」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Home Edition

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「EPSON LP-S510」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Professional/Sever 2003

1 ［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

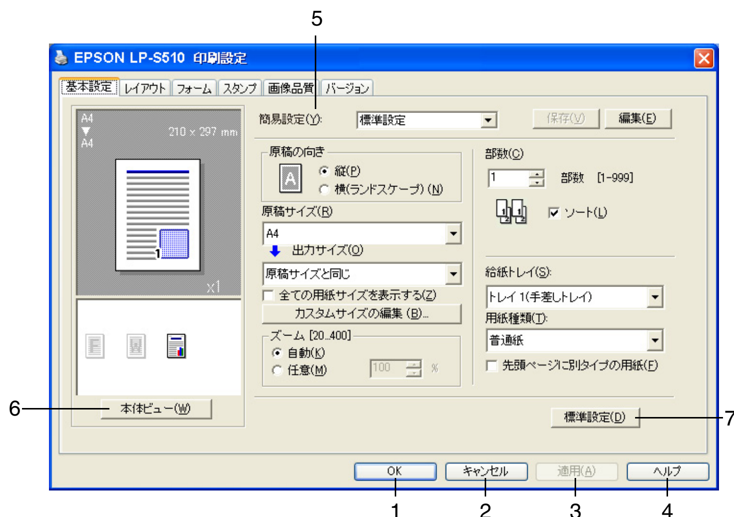
2 「EPSON LP-S510」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows 2000

1 ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「EPSON LP-S510」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

各タブで共通のボタン



1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

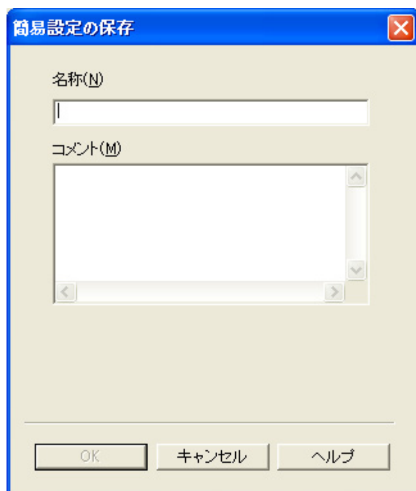
このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

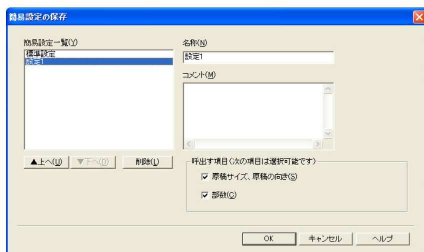
4. ヘルプ

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. 簡易設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［保存］をクリックすると右の画面が表示されます。名称、コメントを入力して、［OK］をクリックすると現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。
また、［編集］をクリックすると、簡易設定の編集画面が表示され、保存した設定を変更できます。
ドロップダウンリストで「標準設定」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。







このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

6. ページレイアウト / プリンタ図

プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、［本体ビュー］ボタンが表示されます。［本体ビュー］をクリックすると、プリンタの外観図が表示されます。
プリンタの外観図が表示されている場合は、［用紙ビュー］ボタンが表示されます。［用紙ビュー］をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。
「スタンプ」タブでは、［スタンプビュー］ボタンが表示されます。（［用紙ビュー］ボタンは表示されません。）［スタンプビュー］をクリックすると、スタンプのプレビューが表示されます。
「画像品質」タブでは、［画像品質ビュー］ボタンが表示されます。（［用紙ビュー］ボタンは表示されません。）［画像品質ビュー］をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。



このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

7. 標準設定

このボタンをクリックすると、設定が標準設定に戻ります。

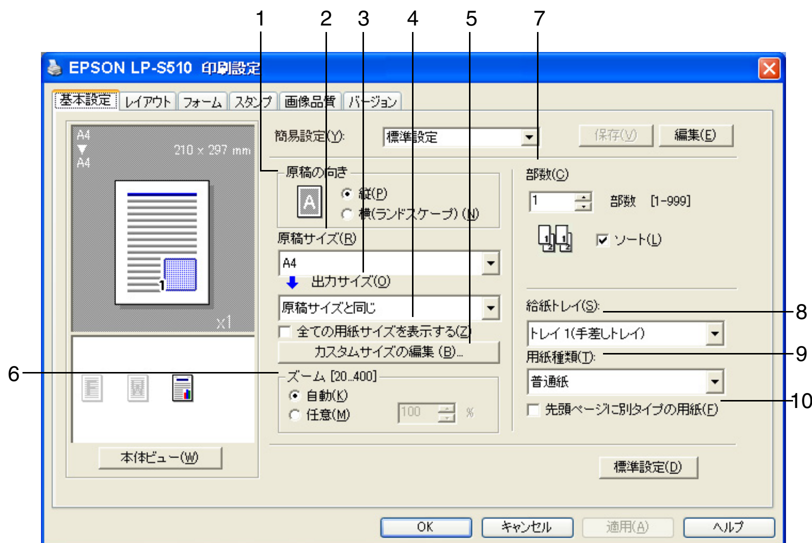


このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。



表示されているタブの設定のみ、標準設定に戻ります。その他のタブの設定は変更されません。

「基本設定」タブ



1. 原稿の向き

印刷の向きを「縦」または、「横（ランドスケープ）」から選択して設定します。

2. 原稿サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。

3. 出力サイズ

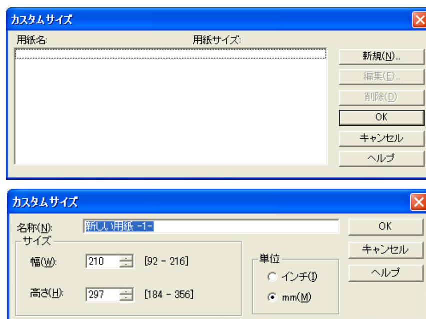
印刷する用紙のサイズを設定します。

4. 全ての用紙サイズを表示する

全ての用紙サイズを「原稿サイズ」「出力サイズ」に表示します。「全ての用紙サイズを表示する」のチェックボックスにチェックをしていないと、最も一般的な用紙サイズを表示します。

5. カスタムサイズの編集

カスタム定義する用紙サイズの追加、編集、削除を行うことができます。
カスタム定義する用紙サイズを追加する場合は、［新規］をクリックし、「名称」「サイズ」を設定します。
設定した名前が「原稿サイズ」「出力サイズ」に表示されます。



6. ズーム

印刷倍率を設定します。
印刷倍率を手動で変更する場合は、「任意」を選択し、20%から 400%の間で設定します。

7. 部数

印刷する部数を設定します。
「ソート」チェックボックスにチェックすると部単位で印刷を行います。

8. 給紙トレイ

印刷に使用する給紙トレイを選択します。
本プリンタでは、「トレイ 1」しか選択できません。

9. 用紙種類

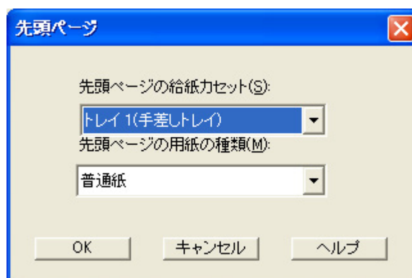
印刷に使用する用紙種類を選択します。



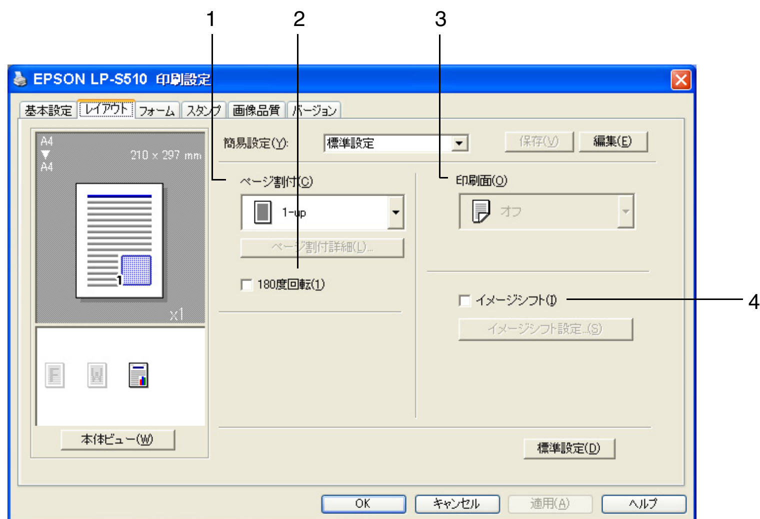
最適な印刷結果を得るためには、「用紙種類」で選択する項目とトレイにセットする用紙を一致させてください。

10. 先頭ページに別タイプの用紙

先頭ページに使用する用紙種類を選択します。
「先頭ページに別タイプの用紙」チェックボックスをチェックすると、先頭ページの設定画面が表示されます。「先頭ページの用紙の種類」を設定します。

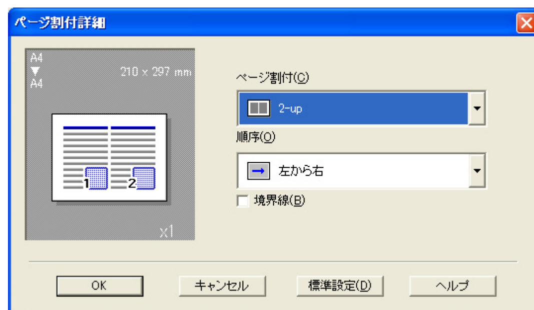


「レイアウト」タブ



1. ページ割付

複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷します。
「1-up」「2 × 2」「3 × 3」「4 × 4」「5 × 5」以外の設定を選択した場合、［ページ割付詳細］ボタンが有効になります。
［ページ割付詳細］をクリックすると、ページ割付詳細画面が表示されます。用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の有無を選択します。



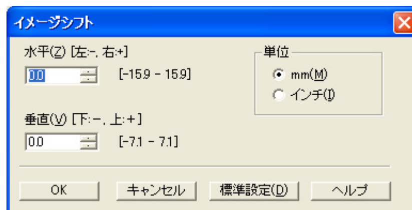
2. 180 度回転

「180 度回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

3. 印刷面

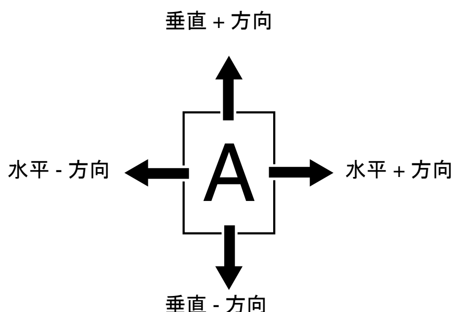
本プリンタでは、この設定値は変更できません。

4. イメージシフト

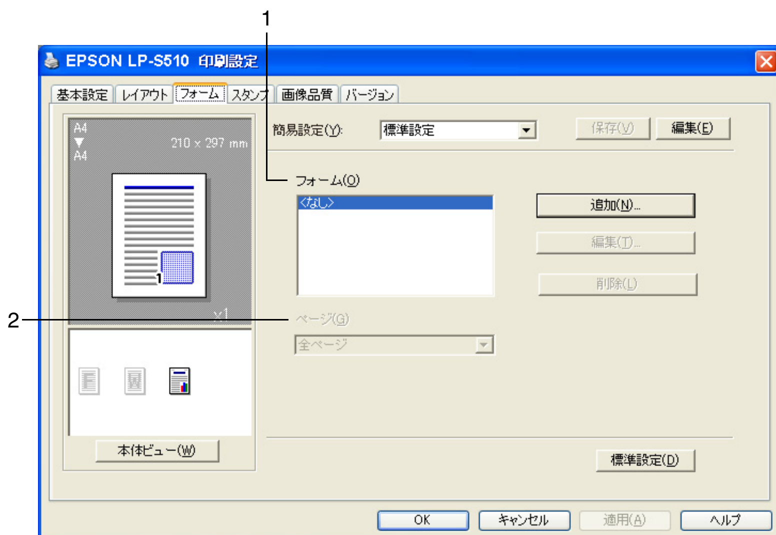


用紙に印刷される文書の位置を設定します。「イメージシフト」チェックボックスをチェックすると、[イメージシフト設定] ボタンが有効になります。[イメージシフト設定] をクリックすると、イメージシフト設定画面が表示されます。文書の印刷位置を 0.1 ミリ単位または、0.01 インチ単位で設定します。

右図を参照してプリント位置を設定してください。



「フォーム」タブ

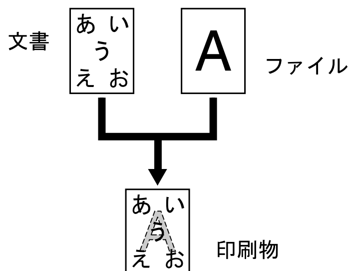




必ず用紙サイズと原稿の向きがフォームに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、「レイアウト」タブの「ページ割付」で複数ページの文書を１ページに印刷するように設定した場合、フォームは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

1. フォーム

印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷を行います。リストから使用するフォームを選択します。
［追加］をクリックすると、フォーム画面が表示されます。新たに追加するフォーム名、ファイルの参照先設定を行います。





追加したフォームファイルは「フォーム」タブのリストに追加されます。
追加したフォームファイルを編集する場合は、リスト内の編集したいフォームファイルを選択し、[編集] をクリックします。



フォーム名とファイル参照先を編集できます。フォームファイル自体を編集することはできません。
追加したフォームファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいフォームファイルを選択し、[削除] をクリックします。



フォームを作成するには、任意のアプリケーションでデータを作成し、「ファイルに出力」オプションを選択して印刷を行います。
これにより作成される prn ファイルをフォームとして使用します。

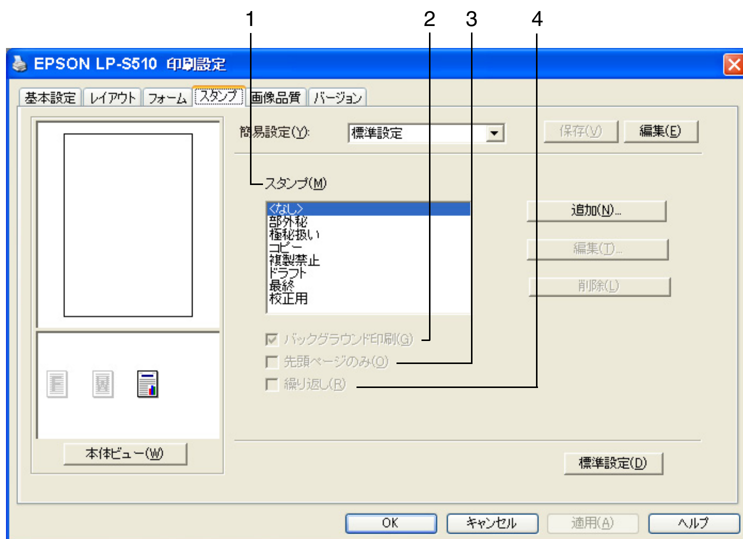


フォームが複数のページにまたがる場合は、最初のページのデータだけがフォームとして使用されます。

2. ページ

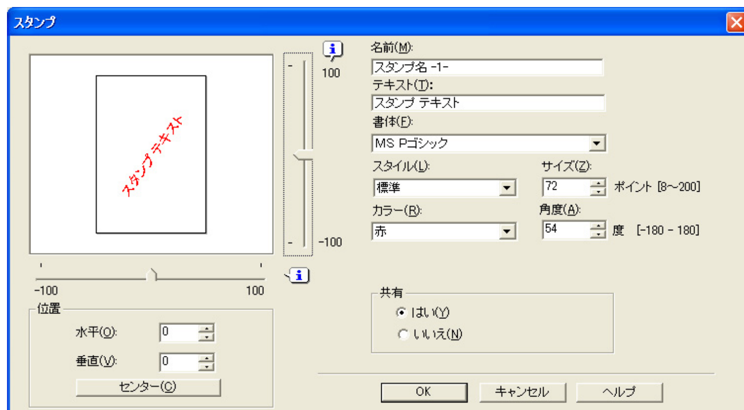
フォームを印刷するページを「全ページ」、「先頭ページ」から選択して設定します。

「スタンプ」タブ



1. スタンプ

印刷する文書に「部外秘」などのテキストを入れて印刷します。
［追加］をクリックすると、スタンプを作成、編集する画面が表示されます。新たにスタンプを作成します。



作成したスタンプは「スタンプ」タブのリストに追加されます。
リストに追加したスタンプを編集、削除する場合は、リスト内のスタンプを選択し、［編集］または、［削除］をクリックします。

2. バックグランド印刷

「バックグランド印刷」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字をテキストやイメージの背面に印刷します。

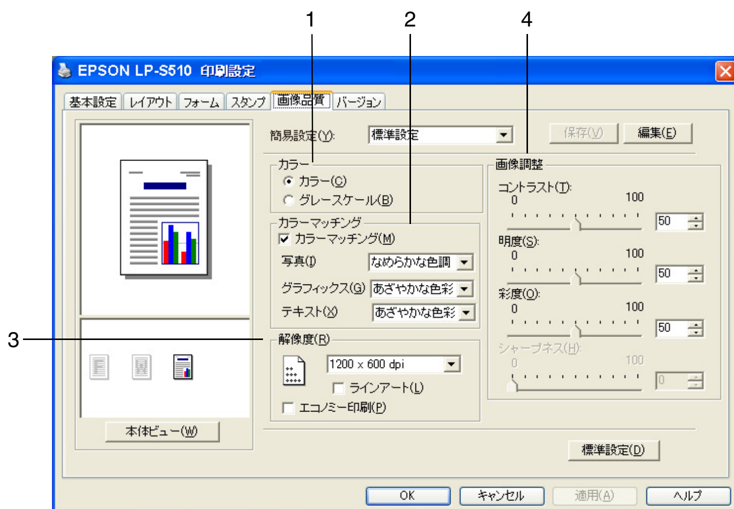
3. 先頭ページのみ

「先頭ページのみ」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

4. 繰り返し

1 ページ内にスタンプの文字を繰り返し印刷します。

「画像品質」タブ



1. カラー

カラーで印刷するかモノクロ（グレースケール）で印刷するかを設定します。

2. カラーマッチング

「カラーマッチング」をチェックすると、カラーマッチング機能が有効になります。これにより、スクリーン上の色合いを忠実に表現して印刷することができます。

写真（イメージ）、グラフィックス（表・図柄）、テキスト（文字）のそれぞれに対して、「なめらかな色調」「測色的に一致」「あざやかな色彩」の設定の中から 1 つを選択することができます。



DTP アプリケーション等で、アプリケーションの持つカラーマッチング機能を使って出力する場合には、この設定をオフにしてください。

3. 解像度

印刷時の解像度を dpi（1 インチあたりの印字ドット数）で設定します。「600 × 600dpi」または「1200 × 600dpi」を選択できます。

「ラインアート」をチェックすると、さらに精密な画像の印刷ができますが、再現できる階調数が少なくなります。

「エコノミー印刷」をチェックすると、エコノミー印刷機能が有効になります。これにより、トナーの消費を抑えて印刷することができます。

4. 画像調整

印刷する画像のコントラスト、明度（明るさ）、彩度（鮮やかさ）、シャープネスを設定します。



このタブの「カラー」および「カラーマッチング」で選択した項目によって、調節可能な項目は異なります。

「バージョン」タブ

プリンタドライバのバージョン情報を確認できます。

3

リモートパネルプログラムの使いかた

リモートパネルプログラムの使いかた

リモートパネルプログラムでは、プリンタと接続しているコンピュータからプリンタの状態を確認できます。また、プリンタのさまざまな設定（スリープモードに切り替わるまでの時間など）を変更できます。



リモートパネルプログラムを使うには、プリンタドライバをインストールしてからリモートパネルプログラムをインストールします。インストールについては「インストレーションガイド」をごらんください。



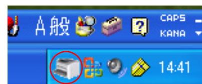
リモートパネルプログラムは、プリンタがコンピュータに接続され、プリンタの電源がオンになっている場合に使用できます。

リモートパネルプログラムを開く

リモートパネルプログラムを起動する手順は、以下のとおりです。

1 コンピュータのデスクトップまたは任意の場所にあるリモートパネルプログラム .exe をダブルクリックします。（リモートパネルプログラム .exe は、リモートパネルプログラムをインストールするときに指定した場所に保存されています）
タスクバーにリモートパネルプログラムのアイコンが表示されます。

2 タスクバーのリモートパネルプログラムのアイコンをダブルクリックします。





リモートパネルプログラムウィンドウ右下の「閉じる」ボタンをクリックすると、リモートパネルプログラムを閉じることができます（リモートパネルプログラムアイコンは Windows のタスクバーに残ります）。

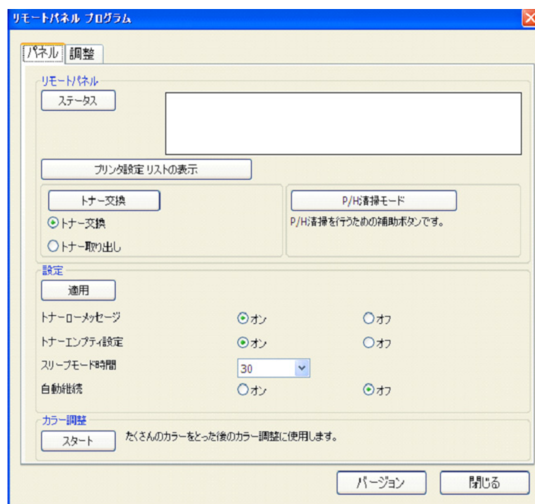


リモートパネルプログラムを終了後、再度リモートパネルプログラムを起動する場合は、リモートパネルプログラム .exe をダブルクリックしてください。

リモートパネルプログラムの使いかた

リモートパネルプログラムの機能は以下のとおりです。

「パネル」タブ



リモートパネルプログラム

■ ステータス：ボタンをクリックすると、現在のプリンタの状態を確認できます。



本ユーティリティはステータスを自動取得できないので、最新のステータスは「ステータス」ボタンをクリックして取得してください。

■ プリンタ設定リストの表示：プリンタ設定リストを表示します。また、リストの内容を INI ファイル形式で保存することもできます。

- 消耗品残量：トナーカートリッジおよび感光体ユニットのステータスや残量などを確認できます。

プリンタ設定リスト

消耗品残量 | カバレージ情報 | カウンタ | 用紙 | マシン設定 | F/Wバージョン | 調整

- 消耗品残量 -

	ステータス	残量(%)	トナーカートリッジのタイプ
シアントナー	レディ	74%	スターター
マゼンタトナー	レディ	75%	スターター
イエロートナー	レディ	44%	スターター
ブラックトナー	レディ	71%	スターター
感光体ユニット	レディ	96%	

保存　閉じる

- カバレージ情報：これまでに印刷した合計枚数、カラー / モノクロ別の内訳枚数のカバレージ情報（すべてのサイズを A4 サイズに換算した数値）を確認できます。また、トナーカートリッジのカバレージ情報も確認できます。

プリンタ設定リスト

消耗品残量 | カバレージ情報 | カウンタ | 用紙 | マシン設定 | F/Wバージョン | 調整

－ カバレージ情報 －

A4換算値：全てのサイズをA4に換算した値です。

トータルカウンタ(A4換算値)

カラーページ	133
モノクロページ	8
合計	141

カバーレージ情報(A4換算値)

カラー	9
モノクロ	3

<トナーカバレージ>		<直前のジョブ>	
シアントナー(平均%)	8%	シアントナー(平均%)	0%
マゼンタトナー(平均%)	28%	マゼンタトナー(平均%)	0%
イエロートナー(平均%)	3%	イエロートナー(平均%)	0%
ブラックトナー(平均%)	4%	ブラックトナー(平均%)	9%

保存　閉じる

- カウンタ：これまでに印刷した合計枚数、カラー / モノクロ別の内訳枚数を確認できます。

プリンタ設定リスト

消耗品残量 | カバレージ情報 | カウンタ | 用紙 | マシン設定 | F/Wバージョン | 調整

－ カウンタ －

トータルページカウンタ:	144	カウンタ(トレイ別)	
カラーページ	134	トレイ1	144
モノクロページ	10		

0/0/0/0/0/0/0/0/100/0/100/2/96/0

0/0/0/144/0/0/0/0/0/0

保存　閉じる

- 用紙：これまでに印刷した用紙サイズ別の内訳枚数、用紙種類別の内訳枚数を確認できます。

プリンタ設定リスト

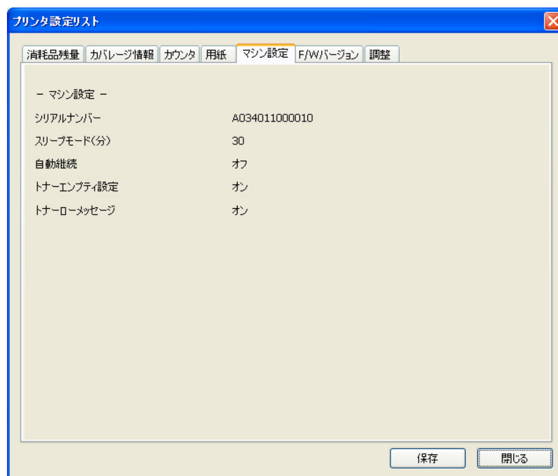
消耗品残量 | カバレージ情報 | カウンタ | 用紙 | マシン設定 | F/Wバージョン | 調整

－用紙－

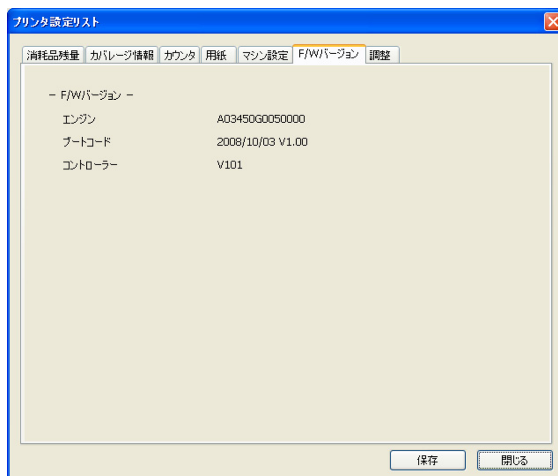
カウンタ(サイズ別)		カウンタ(タイプ別)	
A4	139	普通紙	139
B5	1	厚紙1	1
A5	4	厚紙2	3
リーガル	0	封筒	1
レター	0	レターヘッド	0
その他	0	はがき	0
		ラベル用紙	0

保存　閉じる

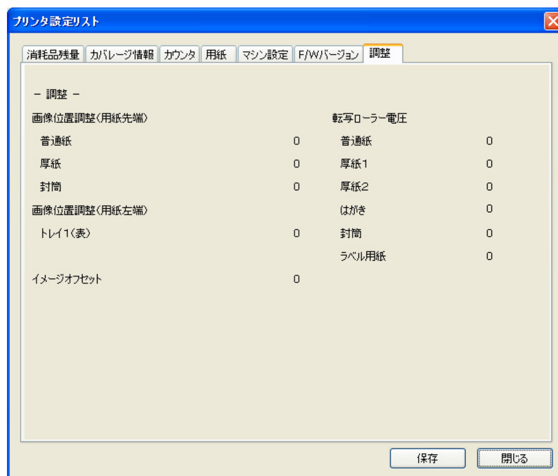
- マシン設定：プリンタのシリアル番号を確認できます。また、リモートパネルプログラムの「パネル」タブで変更可能な設定情報（スリープモード時間、自動継続、トナーエンプティ設定、トナーローメッセージ）の現在の設定値を確認できます。



- F/W バージョン：プリンタに搭載されているファームウェアのバージョンを確認できます。



- 調整：リモートパネルプログラムの「調整」タブで変更可能な一部の設定情報（画像位置調整（用紙先端）、画像位置調整（用紙左端）、転写ローラー電圧、イメージオフセット）の現在の設定値を確認できます。



■ トナー交換：ボタンをクリックすると、プリンタの動作モードが選択したモードに切り替わります。選択可能なモードは、以下の 2 つです。

- トナー交換：トナーカートリッジを交換する場合に使用します。
  このモードを選択して［トナー交換］ボタンをクリックすると、プリンタの動作モードが「トナー交換モード」に変わります。
  （「トナーカートリッジの交換手順」（p.69）をごらんください。）

- トナー取り出し：すべてのトナーカートリッジを取り出す場合に使用します。
  このモードを選択して［トナー交換］ボタンをクリックすると、プリンタの動作モードが「トナー取り出しモード」に変わります。
  （「すべてのトナーカートリッジを取り出す方法」（p.75）をごらんください。）

■ P/H 清掃モード：プリントヘッドの清掃を行う場合に使用します。
このモードを選択して［トナー交換］ボタンをクリックすると、プリンタの動作モードが「プリントヘッド清掃モード」に変わります。
（「プリントヘッドの清掃」（p.90）をごらんください。）



プリンタ本体の［トナー回転］キーを押して、これらのモードに切り替えることもできます。
詳しくは、「［トナー回転］キーについて」（p.14）をごらんください

設定



Windows タスクバーに表示されるリモートパネルプログラムアイコンを閉じると、再表示したとき画面上の設定値は初期値が表示されます。実際の設定値は「プリンタ設定リストの表示」からご確認ください。



太字は工場出荷時の設定値を表します。

［適用］ボタン	クリックすると、画面上の「トナーローメッセージ」、「トナーエンプティ設定」、「スリープモード時間」、「自動継続」の設定情報をプリンタに送信します。	
トナーローメッセージ	設定	**オン** / オフ
	トナーが少なくなった場合に、プリンタ本体のランプを点滅させたり、リモートパネルプログラムのステータス表示に警告メッセージを表示するかどうかを設定します。「オフ」にすると、トナーが少なくなっても、これらの通知はされなくなります。	
トナーエンプティ設定	設定	**オン** / オフ
	トナーがなくなった場合に印刷を停止するか（オン）、続行するか（オフ）を設定できます。 オフにした場合、印刷は継続できますが印刷結果は保証されません。その後も印刷を続けると、「エラー」ランプが点灯し、印刷が停止します。 また、オフの設定でカラートナーがなくなった場合、ブラックトナーが残っていればモノクロ（グレースケール）設定で印刷することができます。	
スリープモード時間	設定	5 / 15 / **30** / 60
	プリンタがスリープモード（節電モード）に入るまでの時間を設定できます。	
自動継続	設定	オン / **オフ**
	「オフ」を選択すると、プリンタで用紙サイズエラーが発生した場合、［クリア］キーを押してエラーが解除されるまで、次のプリントジョブは実行されません。 「オン」を選択すると、プリンタで用紙サイズエラーが発生しても、次のプリントジョブが送信されると、自動的に用紙サイズエラーが解除されて次のジョブが実行されます。	

カラー調整

- スタート：キャリブレーションを実行します。



カラー調整機能を使用するとトナーが消費されますのでご注意ください。

「調整」タブ





Windows タスクバーに表示されるリモートパネルプログラムアイコンを閉じると、再表示したとき画面上の設定値は初期値が表示されます。実際の設定値は「プリンタ設定リストの表示」からご確認いただくか、
［ダウンロード］をクリックしプリンタから設定値をダウンロードしてください。



太字は工場出荷時の設定値を表します。

画像位置調整（用紙先端）	設定	-15 ~ **0** ~ 15
	上端の印字開始位置を微調整できます。普通紙、厚紙、封筒の各用紙で設定できます。 1 ステップ調整すると 0.2 mm 移動します。	
画像位置調整（用紙左端）	設定	-15 ~ **0** ~ 15
	トレイ 1 から給紙される用紙の左端印字開始位置を微調整できます。 1 ステップ調整すると 0.2 mm 移動します。	

転写ローラー電圧	設定	-8 ~ **0** ~ +7	
	用紙種類に応じた転写ローラー電圧を設定できます。かすれたようなベタ画像が発生する場合は設定値をプラス方向へ設定します。 ハーフトーンに細かな白点が発生する場合は設定値をマイナス方向へ設定します。		
サービスメニュー	タイムアウト	設定	5 / 10 / 20 / 30 / 40 / 50 / **60**
		プリンタとの通信時のタイムアウトの時間を設定します。（単位：秒）	
	スリープモード	設定	**オン** / オフ
		スリープモード（節電モード）を有効にするかどうかを設定します。スリープモードに入るまでの時間は、「パネル」タブで設定できます。	
	フリッカー	設定	**0** / 1 / 2
		電源環境による蛍光灯のちらつきを防止するモードを設定します。 0：自動でちらつきを防止する 1：常にちらつきを防止する 2：ちらつきを防止しない	
	イメージオフセット	設定	**0** / 1 / 2 / 3
		高地などの環境（気圧が低い場所）で画像異常が発生した場合に切り替えます。 0：一般的な平地で使用 1：中高地で使用 2：高地で使用（参考：標高約 2000 m） 3：高高地で使用	

■ 画像リフレッシュ：印刷した画像に周期的な白薄い横線が入る場合に使用します。



画像リフレッシュ機能を使用するとトナーが消費されますのでご注意ください。

テストパターン 1、テストパターン 2：テストパターンを印刷して、印刷結果を確認できます。テストパターン 1 ではモノクロのテストパターンを、テストパターン 2 ではカラーのテストパターンを印刷できます。

ダウンロード：プリンタの現在の設定情報を読込んで画面に表示します。

アップロード：現在の画面の設定情報をプリンタに送信します。

リモートパネルプログラムを閉じる

リモートパネルプログラムを終了するときは、タスクバーのリモートパネルプログラムのアイコンを右クリックし、「終了」を選択してください。



リモートパネルプログラムの画面右下の［閉じる］ボタンをクリックすると、画面は閉じますが、タスクバーに最小化されアイコンとして残ります（終了しません）。アイコンをダブルクリックすると、リモートパネルプログラムが再度表示されます。



リモートパネルプログラムを閉じた後に再度リモートパネルプログラムを開く場合は、5 秒以上待ってから開いてください。

リモートパネルプログラムのアンインストール



リモートパネルプログラムのアンインストールを行うには、コンピュータの管理者権限が必要です。



Windows Vista を使用時に「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「許可」または「続行」をクリックします。



アンインストールを行う前に、タスクバーからリモートパネルプログラムを終了させてください。

リモートパネルプログラムは以下のいずれかの方法でアンインストールできます。

– 「プログラムの追加と削除」（Windows Vista の場合は「プログラムと機能」、Windows 2000 の場合は「アプリケーションの追加と削除」）を使う
– ソフトウェアディスクの「Remote Panel」フォルダにある、setup.exe を再度実行する

4 用紙の取り扱い

使用できる用紙

用紙のサイズ

用紙	用紙サイズ	
	ミリ（mm）	インチ（in.）
A4	210.0 x 297.0	8.2 x 11.7
B5	182.0 x 257.0	7.2 x 10.1
A5	148.0 x 210.0	5.9 x 8.3
リーガル	215.9 x 355.6	8.5 x 14.0
レター	215.9 x 279.4	8.5 x 11.0
ハーフレター（HLT）	139.7 x 215.9	5.5 x 8.5
エグゼクティブ（EXE）	184.2 x 266.7	7.25 x 10.5
F4	210.0 x 330.0	8.25 x 13.0
ガバメントリーガル（GLG）	215.9 x 330.2	8.5 x 13.0
ガバメントレター（GLT）	203.2 x 266.7	8.0 x 10.5
封筒洋形 2 号	162.0 x 114.0	6.4 x 4.5
ハガキ	100.0 x 148.0	3.9 x 5.8
カスタムサイズ（最小値）*	92.0 x 195.0	3.6 x 7.7
カスタムサイズ（最大値）*	216.0 x 356.0	8.5 x 14.0
備考： * 厚紙の場合 カスタムサイズの最小値は、92.0 x 184.0 mm （3.6 x 7.25 インチ） カスタムサイズの最大値は、216.0 x 297.0 mm（8.5 x 11.7 インチ）		

用紙の種類

普通紙以外の特殊紙に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

普通紙（リサイクル）

容量	**トレイ 1**	200 枚（用紙の厚さによって変わります）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	普通紙	
坪量	60 ～ 90 g/m²	

以下の用紙を使用してください。

■ エプソン製の用紙　上質普通紙　LPCPPA4　(A4)
普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。

■ 販売店で取り扱っている OA 用紙、リサイクル紙など、プリンタ対応の普通紙（リサイクル）

ご注意

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、プリンタの故障の原因になります。

以下のような用紙は使用しないでください。

■ 表面加工されている用紙（カーボン紙、デジタル光沢紙、カラー加工された紙など）

■ 熱転写用紙

■ 水転写用紙

■ 感圧紙

■ インクジェットプリンタ用紙（スーパーファイン紙、光沢フィルム、はがきなど）

■ 一度印刷に使用した用紙
・インクジェットプリンタで印刷された用紙
・モノクロ／カラーのレーザープリンタ／コピー機で印刷された用紙
・熱転写プリンタで印刷された用紙
・他のプリンタやファクス機で印刷された用紙

■ 湿気のある用紙
湿度が 15% ～ 85% の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。

■ 重なっている用紙

■ 粘着性のある用紙

■ 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙

■ 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙

■ なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの

■ 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙

■ 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙

■ 静電気がたまっている用紙

■ アルミ箔や金箔、光っているもの

■ 感熱紙、または定着部の温度（180°C）に耐性がない用紙

■ 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で断裁されていない）用紙

■ のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの

■ 酸性のもの

■ その他対応していない用紙

厚紙

坪量 90 g/m^2 より厚い用紙を厚紙として扱います。どの厚紙の場合も、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

厚紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	厚紙 1 厚紙 2	
坪量	厚紙 1：91 ～ 163 g/m^2 厚紙 2：164 ～ 209 g/m^2	

以下のような使いかたはしないでください。

- 給紙トレイの中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

封筒

どの封筒の場合も、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

封筒には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	**トレイ 1**	10 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	封筒	

以下の封筒を使用してください。

- サイズが洋形 2 号の封筒（その他のサイズの封筒はサポート外となります）
- レーザープリンタ対応の封筒
- 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

- 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒
- テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒
- 窓付きの封筒
- 表面が粗い和紙などの封筒
- 定着部の熱（180°C）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒
- すでにのりでとじられている封筒

ラベル用紙

ラベル用紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

- 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。
- 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル用紙にも連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってラベル用紙用のデータを作成してください。また、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。ラベル用紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルをごらんください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	ラベル用紙	

以下のラベル用紙を使用してください。

- レーザープリンタ用ラベル用紙

以下のようなラベル用紙は使用しないでください。

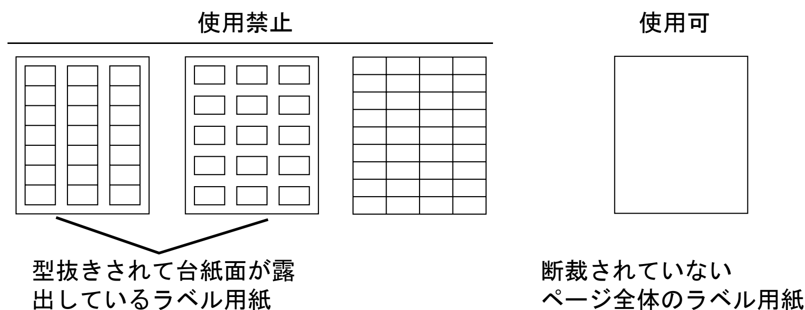
■ はがれやすいラベル用紙

■ 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル用紙



ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

■ 最初から断裁されているラベル用紙



レターヘッド

レターヘッドには連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってレターヘッド用のデータを作成してください。また、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙のサイズや厚さによって変わります）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	レターヘッド	

はがき

はがきは連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってはがき用のデータを作成してください。また、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	ハガキ	

以下のはがきを使用してください。

■ サイズ : 100 × 148 mm
（市販のはがきには、使用できないものがあります。）

以下のようなはがきは使用しないでください。

■ 光沢のあるもの

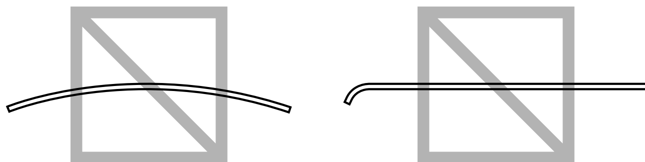
■ 曲がっているもの

■ インクジェットプリンタ用のもの

■ 切り込みやミシン目のあるもの

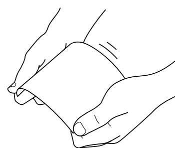
■ すでに印刷されているもの、色加工されているもの
（はがきの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。）

■ 大きく曲がっていたり、先端が曲がっているもの





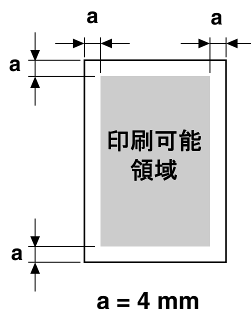
はがきが曲がっているときは、トレイ 1 にセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。



印刷可能領域

すべての用紙サイズで、用紙の端から 4 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。



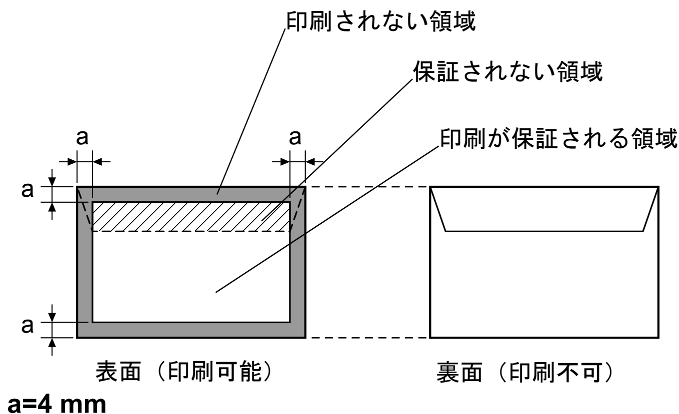


リーガルサイズの用紙にカラー印刷する場合は、以下の制約があります。

- 印刷可能領域は、用紙の先端から 339.6 mm です（ただし、先端の 4 mm は余白になります）。
- 用紙の後端の 16 mm は余白になります。

封筒の場合

封筒では、表面（宛先面）への印刷のみが可能です。また、（表面の）封の重なる部分への印刷結果は保証されません。保証されない領域の大きさは、封筒の種類によって異なります。



 封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。

 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つことがありますので、事前に試し印刷をすることをお勧めします。

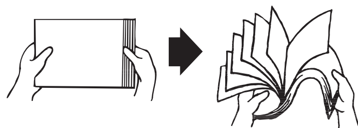
ページ余白

ページ余白の設定はお使いのアプリケーションによって決まります。用紙サイズや余白を既定値から選択すると、印刷できない領域が生じる場合があります。最適な結果を得るためには、カスタム設定で本プリンタの印刷可能領域内におさまる設定を行ってください。

用紙のセット

用紙のセットのしかたは？

用紙がくっついて給紙されるときは、用紙をよくさばいてください。



ご注意

本プリンタは、幅広い種類の用紙に対応できますが、普通紙以外の種類については、専門的に印刷するようには設計されていません。
普通紙以外の用紙（厚紙、封筒、ラベル用紙、レターヘッド、はがき）を連続印刷すると、印刷品質が劣化したりプリンタの寿命が短くなる場合があります。

用紙を補給するときは、まずトレイ内に残っている用紙をすべて取り除き、補給する用紙とあわせ、用紙の端をそろえてから給紙トレイにセットしてください。

種類やサイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙づまりの原因となります。

トレイ 1（多目的トレイ）

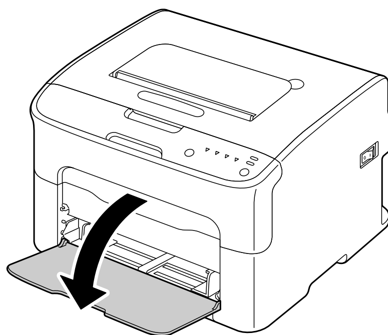
トレイ 1 から印刷できる用紙の種類、サイズについては、「使用できる用紙」（p.48）をごらんください。

普通紙の場合

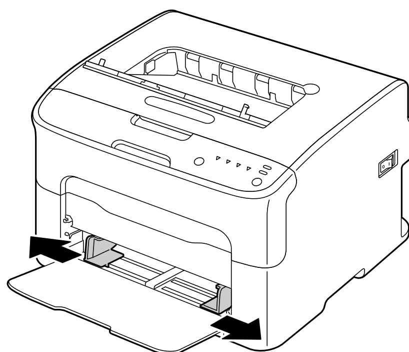
1 トレイ 1 を開きます。



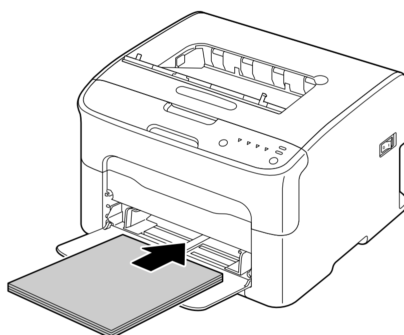
トレイ 1 に用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。



2 用紙ガイドを広げます。

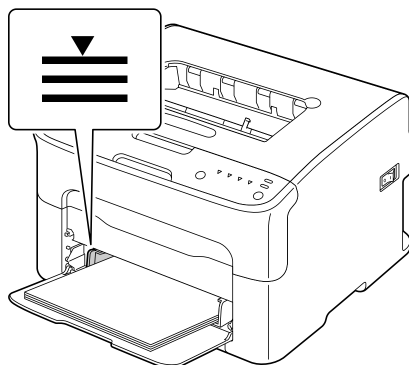


3 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

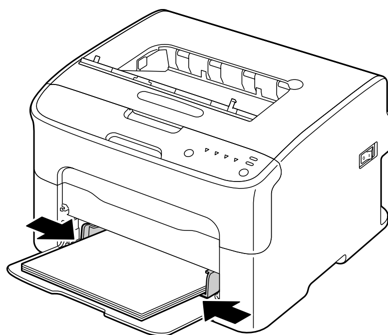




用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 200 枚（80 g/m²）までセットできます。



4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



その他の用紙

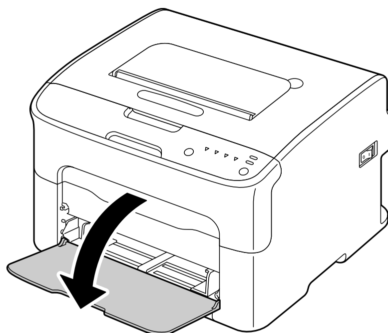
普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタドライバの「用紙の種類」メニューを正しく設定してください。（厚紙、封筒など）

封筒の場合

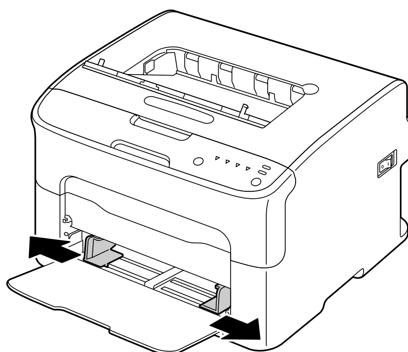
1 トレイ 1 を開きます。



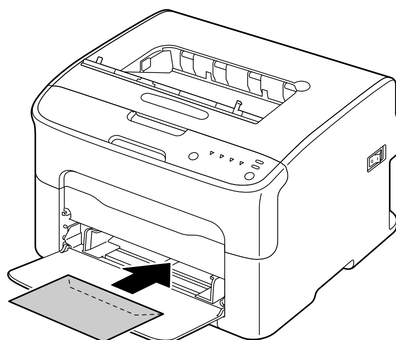
トレイ 1 に用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。



2 用紙ガイドを広げます。



3 フタを下側にして封筒をセットします。





セットする前に、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折目をしっかり押えてください。空気が残っていたり折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわが出来たり、紙づまりの原因になります。

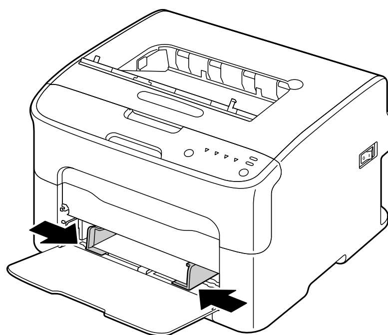


封筒は一度に 10 枚までセットできます。



封筒は、封筒洋形 2 号をサポートしています。封筒のフタはプリンタ側にしてセットしてください。

4 封筒のサイズに用紙ガイドを合わせます。

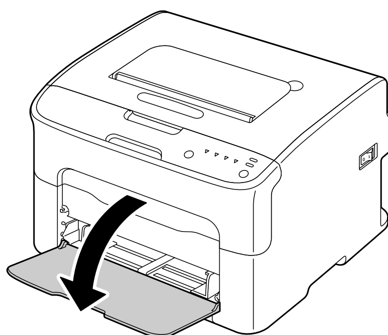


ラベル用紙／レターヘッド／はがき／厚紙の場合

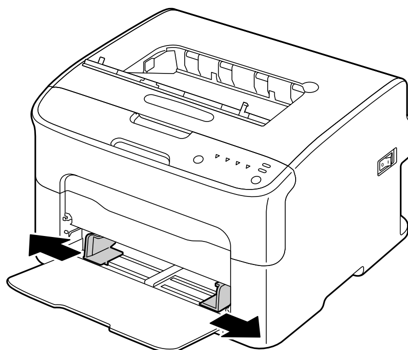
1 トレイ 1 を開きます。



トレイ 1 に用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。



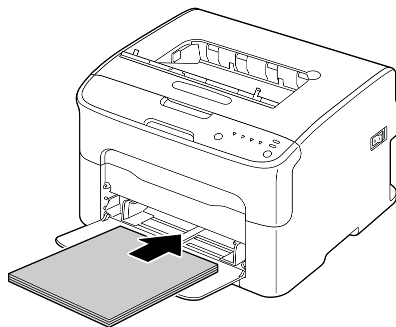
2 用紙ガイドを広げます。



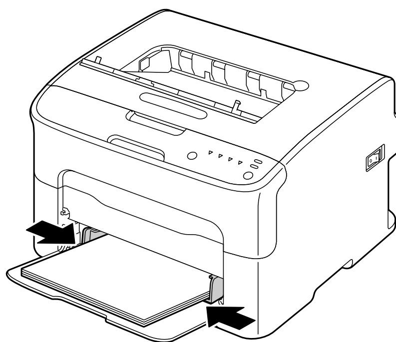
3 印刷面を上向きにして用紙をセットします。



用紙は一度に 50 枚までセットできます。



4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



排紙トレイ

印刷された用紙は、印刷面が下向きの状態でプリンタ上部の排紙トレイに排出されます。排紙トレイの許容量は、80 g/m^2 の用紙（A4 ／レター）で約 100 枚までです。



排紙トレイの用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きやすくなります。

用紙の保管方法

- 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
  包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。
- いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。
- 用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。
  - 湿気が多い場所
  - 直射日光があたる場所
  - 高温の場所（35°C 以上の場所）
  - ほこりの多い場所
- 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

5 消耗品の交換

消耗品の交換のしかた

ご注意

本ユーザーズガイドに記載されている手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

使用済みカートリッジ回収のご案内

回収

エプソンでは、カートリッジ本体だけでなく、その梱包材などすべてを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。

環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。

詳細は、エプソンのホームページで確認してください。

http://www.epson.co.jp/recycle/



使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用してください。

ベルマーク運動

弊社は使用済みトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。詳細はエプソンのホームページをご覧ください。

アドレス　http://www.epson.jp/bellmark/

トナーカートリッジについて

本プリンタではブラック（黒）、イエロー（黄色）、マゼンタ（赤）、シアン（青）の 4 つのトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う際は、トナーがプリンタや手などにこぼれないように注意してください。



トナーカートリッジを交換する場合、必ず未使用品と交換してください。使用済みのトナーと交換すると、トナー残量が正しく表示されないことがあります。



トナーカートリッジは、無理に開けたりしないでください。トナーが漏れ出した場合、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。



トナーが服や手に付いた場合、石鹸を使って水でよく洗い流してください。



トナーを吸入した場合、新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状がでるようであれば医師の診察を受けてください。



トナーが手や服などに付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは、以下の処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、水や石けんでよく洗い流してください。
- 衣服に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。
- 目に入ったときは、水でよく洗い流してください。
- 口に入ったときは、すぐに吐き出してください。
  吸引してしまったときは、その環境から離れ、多量の水でよくうがいをしてください。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。



トナーカートリッジは幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

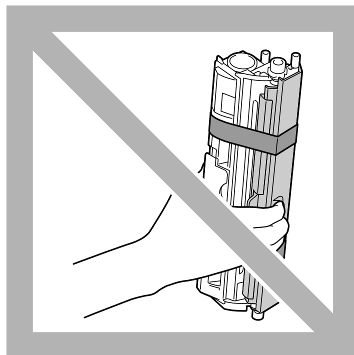
トナーカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるエプソン純正のトナーカートリッジをご使用ください。トナーカートリッジの製品型番はフロントカバーを開けてご確認ください。

商品名	サイズ	型番
ET カートリッジ　ブラック	M	LPC4T7K
ET カートリッジ　シアン	S	LPC4T6C
	M	LPC4T7C
ET カートリッジ　マゼンタ	S	LPC4T6M
	M	LPC4T7M
ET カートリッジ　イエロー	S	LPC4T6Y
	M	LPC4T7Y
環境推進トナー　ブラック	M	LPC4T7KV
環境推進トナー　シアン	M	LPC4T7CV
環境推進トナー　マゼンタ	M	LPC4T7MV

商品名	サイズ	型番
環境推進トナー　イエロー	M	LPC4T7YV

トナーカートリッジは以下のように保管してください。

- トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。
- 日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 気温 35°C 以下、湿度 85% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。
- 水平な状態で保管してください。トナーカートリッジを縦に置いたり、逆向きに置いたりしないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。



- 塩分を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

トナーカートリッジの交換手順

ご注意

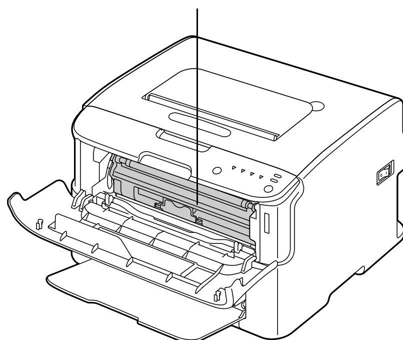
トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

トナーがなくなると、該当する色の［トナー］ランプが点灯します。以下の手順にしたがってトナーカートリッジを交換してください。



パネルユーティリティの「パネル」タブ内のトナーエンプティ設定を「オフ」に設定している場合、ステータス画面に「トナーがなくなりました。」のメッセージが表示された後でも印刷を続行できますが、印字品質は保証外となります。印刷を続け、トナーが完全になくなると、「トナーが寿命です。」と表示され印刷を停止します。
設定について詳しくは、「リモートパネルプログラムの使いかた」（p.37）をごらんください。

トナーカートリッジは右図の位置にあります。



1 操作パネルで、なくなったトナーの色を確認します。



トナーがなくなると、該当する色の［トナー］ランプが点灯し、トナーのなくなったトナーカートリッジが自動的に交換位置へ移動します。

強制的にトナーカートリッジを交換したい場合、以下のいずれかの操作を行って、プリンタの動作モードを「トナー交換モード」に切り替えます。

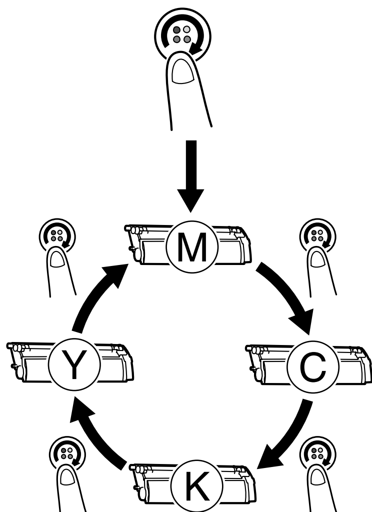
- ［トナー回転］キーを押す。
- リモートパネルプログラムの「パネル」タブで、「トナー交換」を選択して［トナー交換］ボタンをクリックする。



「トナー交換モード」に切り替わると、マゼンタのトナーランプが点灯します。



［トナー回転］キーを 1 回押すごとにシアン、ブラック、イエローの順にトナーカートリッジが交換位置に移動します。交換位置に移動したトナーのランプが点灯します。



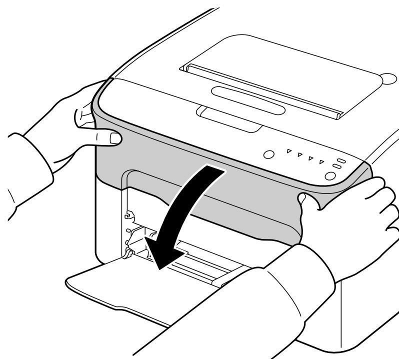


「トナー交換モード」を終了するには、［クリア］キーを押します。

2 前カバーを開きます。



トレイ 1 が開いていない場合はトレイ 1 を開いてから、前カバーを開きます。



3 交換する色のトナーカートリッジが手前に来ていることを確認します。

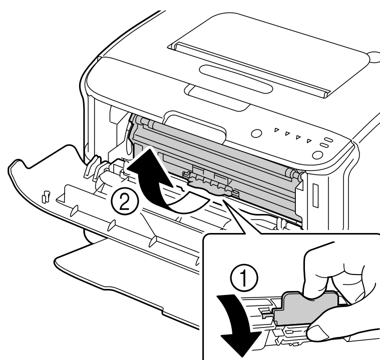


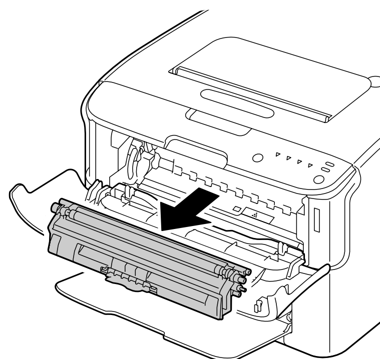
トナーカートリッジの色はトナーカートリッジのつまみで確認できます。

4 トナーカートリッジのロックが解除されて手前に少し緩むまで、トナーカートリッジのつまみを引き下げます。
トナーカートリッジを取り外します。



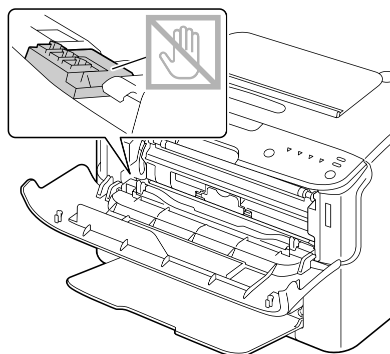
トナーカートリッジラックは手動では回せません。破損の原因となりますので、無理に回さないでください。





ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。



ご注意

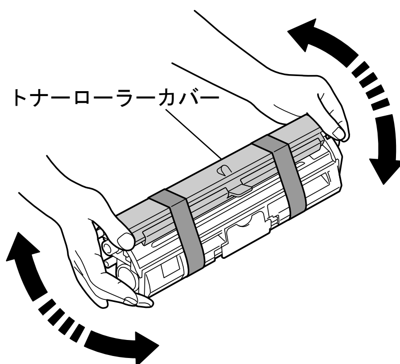
使用済みトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

5 新しいトナーカートリッジを用意します。

6 新しいトナーカートリッジを両手で持ち、数回振ります。



トナーローラーカバーが装着されていることを確認してから振ってください。

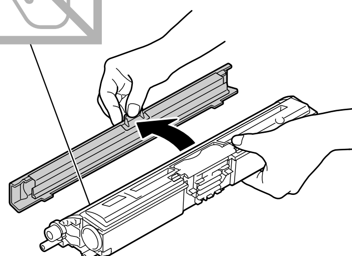


7 トナーローラーカバーを取り外します。

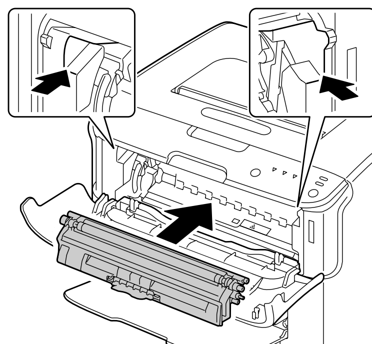


トナーローラーには触れたり、傷をつけたりしないように注意してください。



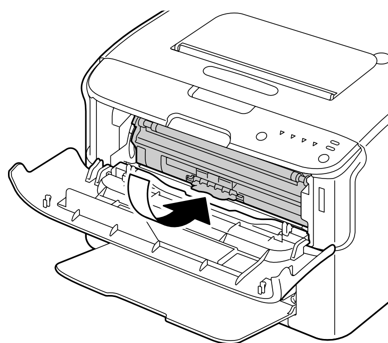


8 トナーカートリッジの両端の軸を軸受けに合わせ、セットします。



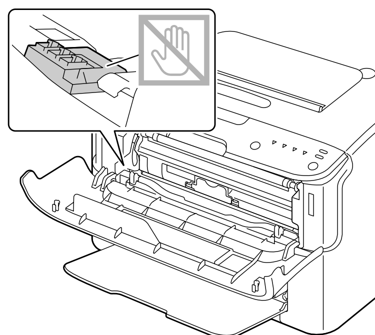


トナーカートリッジラックのラベルと、取り付けるトナーカートリッジの色が同じであることを確認してからトナーカートリッジを取り付けてください。

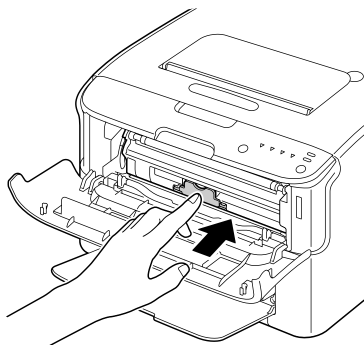


ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。



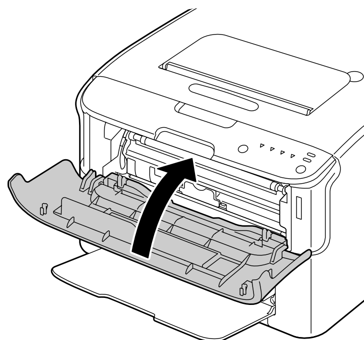
9 トナーカートリッジをカチッと音がするまで確実に押し込みます。



10 前カバーを閉じます。



引き続き、別の色のトナーカートリッジを交換する場合は、前カバーを閉じた後、（必要に応じて［トナー回転］キーを押して）交換する色のトナーランプを点灯させてから、手順 2 〜 10 の手順で同様にトナーカートリッジの交換を行ってください。



11 ［クリア］キーを押します。
［トナー］ランプがオフになり、印刷可能な状態に戻ります。



トナーカートリッジ交換後、プリンタはキャリブレーションを行います。印刷可能な状態になる前にカバーをあけると、キャリブレーションを停止し、カバーを閉めた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

すべてのトナーカートリッジを取り出す方法

ご注意

トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

「トナー取り出しモード」を使用すると、すべてのトナーカートリッジを取り出すことができます。このモードは消耗品を除く本体をサポートセンターに送り渡す場合などに使用します。

「トナー取り出しモード」の使用方法は、以下のとおりです。

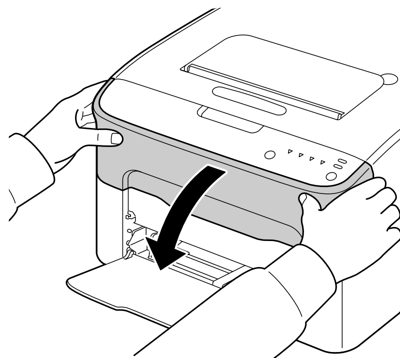
1 以下のいずれかの操作を行って、プリンタの動作モードを「トナー取り出しモード」に切り替えます。
- ［トナー回転］キーを 10 秒以上押し続けてから離す。
- リモートパネルプログラムの「パネル」タブで、「トナー取り出し」を選択して［トナー交換］ボタンをクリックする。


「トナー取り出しモード」に切り替わると、マゼンタのトナーランプが点灯します。


「トナー取り出しモード」を終了するには、［クリア］キーを押します。

2 前カバーを開きます。

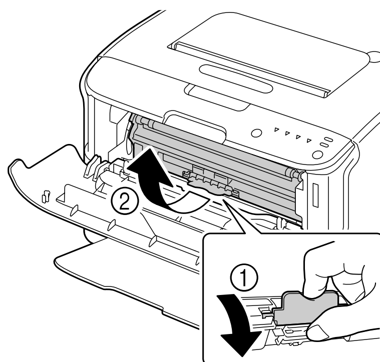

トレイ 1 が開いていない場合はトレイ 1 を開いてから、前カバーを開きます。

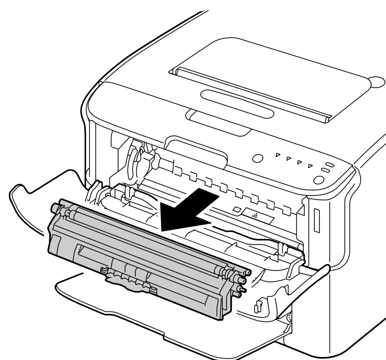


3 トナーカートリッジのロックが解除されて手前に少し緩むまで、トナーカートリッジのつまみを引き下げます。
トナーカートリッジを取り外します。



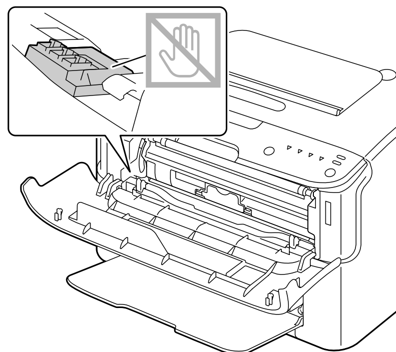
トナーカートリッジラックは手動では回せません。破損の原因となりますので、無理に回さないでください。





ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。



4 前カバーを閉じます。

5 同様の手順で、シアン、ブラック、イエローの順にトナーカートリッジを取り出します。

6 ［クリア］キーを押します。

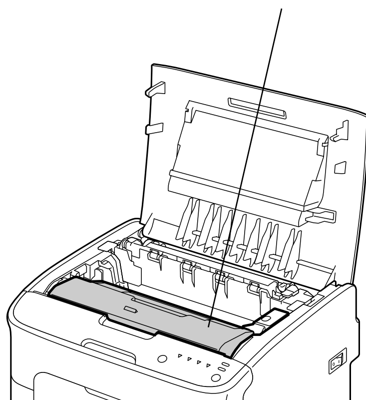
感光体ユニットの交換手順

感光体ユニットの交換の際は下表をごらんください。下表にあるエプソン純正の感光体ユニットをご使用ください。

商品名	型番
感光体ユニット	LPC4K6

感光体ユニットが寿命に達すると、［エラー］ランプが点灯します。以下の手順にしたがって感光体ユニットを交換してください。

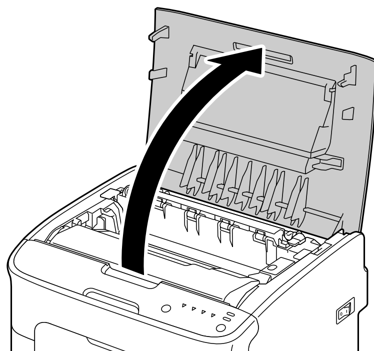
感光体ユニットは右図の位置にあります。



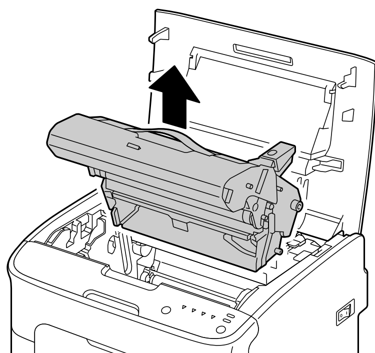
1 上カバーを開けます。



排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでから上カバーを開けてください。



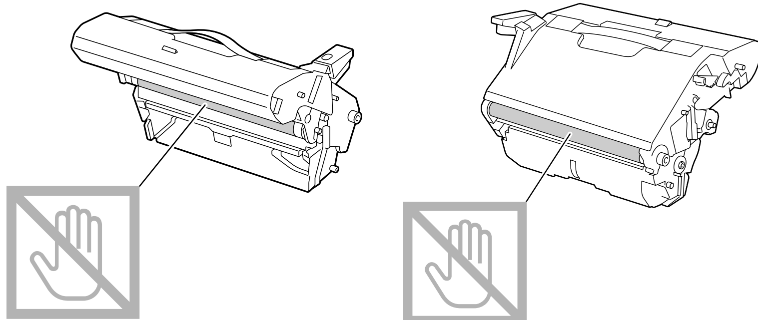
2 取っ手をつかみ、感光体ユニットを上に引き抜きます。



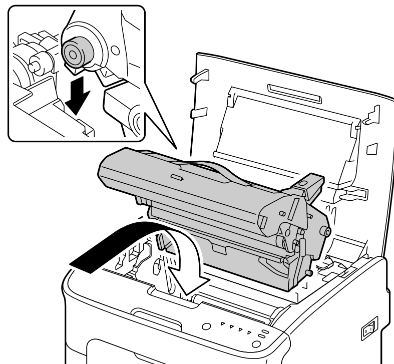
3 新しい感光体ユニットを用意します。

ご注意

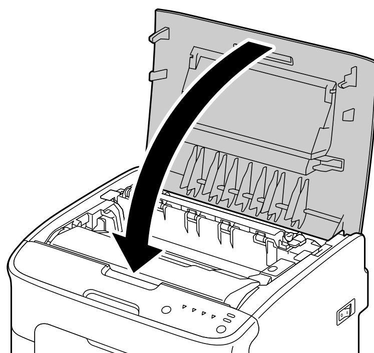
感光体ユニットの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。



4 新しい感光体ユニットを差し込んだ後、奥までしっかり押し込みます。



5 上カバーを静かに閉じます。





感光体ユニット交換後、プリンタはキャリブレーションを行います。印刷可能な状態になる前にカバーをあけると、キャリブレーションを停止し、カバーを閉めた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

メンテナンス

6

プリンタのメンテナンス

プリンタを長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。誤使用や乱暴な取り扱いによる故障については保証の対象になりません。ほこりや用紙の断片がプリンタ内部・外部に残っていると、印刷品質低下の原因となります。定期的にプリンタの清掃をされることをおすすめします。以下のガイドラインにしたがってください。



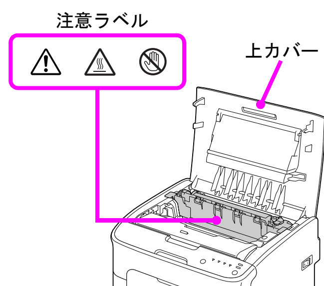
警告

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。



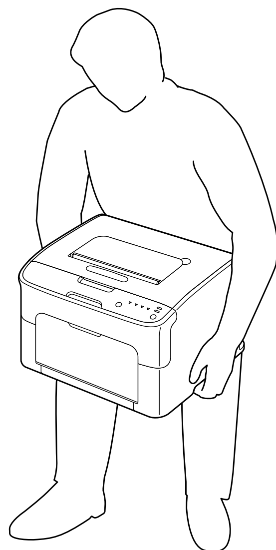
注意

使用中にプリンタの上カバーを開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。また、プリンタ使用中に定着ユニットを取り外すときは、上カバーを開けた状態で 20 分程待ってから作業してください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。



- プリンタ内部の清掃や、紙づまりを取り除く場合は、定着部など内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。
- プリンタの上に物を置かないでください。
- プリンタの清掃には柔らかい布を使用してください。
- プリンタの表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。プリンタのすき間から洗剤液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。
- プリンタの清掃に、溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤を使用しないでください。
- 中性洗剤などの洗剤液を使用する場合は、プリンタの目立たない部分で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。
- プリンタの清掃にはとがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの掃除パッド、ブラシなど）は使用しないでください。

- プリンタのカバーはゆっくり閉めてください。プリンタに振動を与えないようにしてください。
- プリンタを使用後すぐにカバーや布などをかけないでください。電源を切り、プリンタの温度が下がるまで待ってください。
- 上カバーを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によって感光体ユニットが損傷を受ける場合があります。
- 印刷中はプリンタの上カバーや前カバーを開けないでください。
- 用紙をプリンタの上部にあててそろえないでください。
- プリンタに油をさしたり、分解しないでください。
- プリンタを傾けないでください。
- 電気配線、ギア、レーザービーム装置には触れないでください。プリンタの故障や印刷品質の低下の原因になります。
- 排紙トレイ上の用紙の量が多くなりすぎないように取り除いてください。用紙の量が多すぎると、紙づまりをおこしたり用紙がカールする原因になります。
- プリンタを移動するときは、トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。
- プリンタを持ち上げるときは、右の図に示す位置を持ってください。



- トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。



注意

トナーが手や服などに付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは、以下の処置をしてください。

- **皮膚に付着したときは、水や石けんでよく洗い流してください。**
- **衣服に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。**
- **目に入ったときは、水でよく洗い流してください。**
- **口に入ったときは、すぐに吐き出してください。吸引してしまったときは、その環境から離れ、多量の水でよくうがいをしてください。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。**

■ プリンタの電源ケーブルをコンセントに接続する前に、清掃時に取り外した内部の部品が取り付けられていることを確認してください。

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態で使用するために、ときどきクリーニング（清掃）をしてください。

プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。

ただし、プリンタヘッドの清掃を行う場合はプリンタの電源を入れた状態で行ってください。

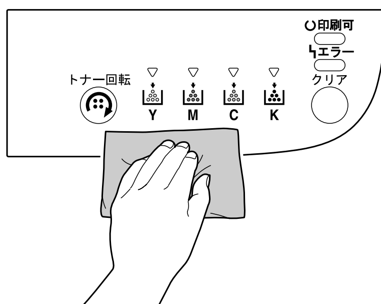


注意

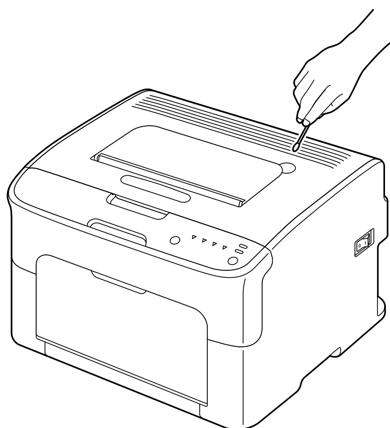
- **製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。**
  感電や火傷のおそれがあります。
- **本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。**
  引火による火災のおそれがあります。

プリンタ外側の清掃

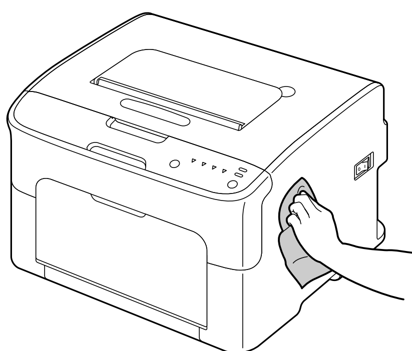
操作パネル



排気ダクト



プリンタの外側



プリンタ内部の清掃

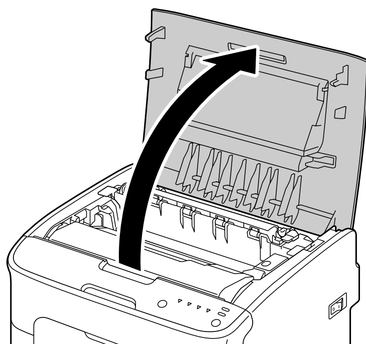
給紙ローラーの清掃

給紙ローラー部に紙粉やほこりがたまると、給紙トラブルの原因になります。

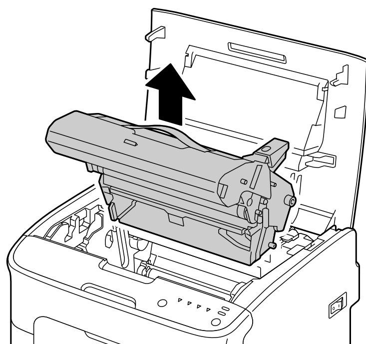
1 上カバーを開けます。



排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでから上カバーを開けてください。

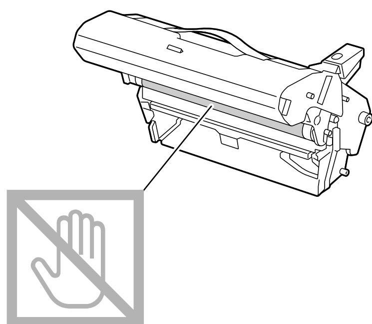


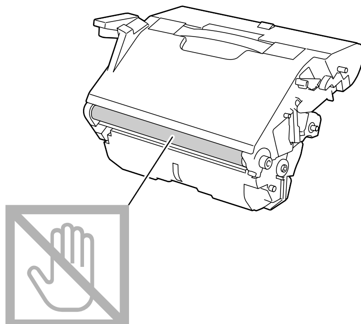
2 取っ手をつかみ、感光体ユニットを上に引き抜きます。



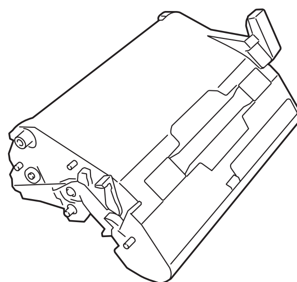
ご注意

感光体ユニットの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

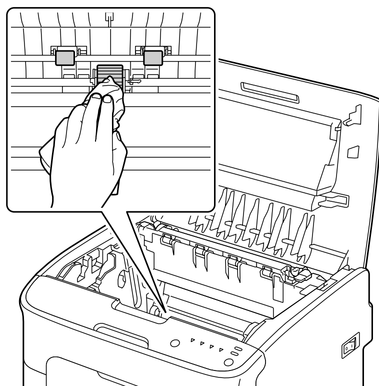




取り外した感光体ユニットは右図の向きで置いてください。
感光体ユニットは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外した感光体ユニットを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。



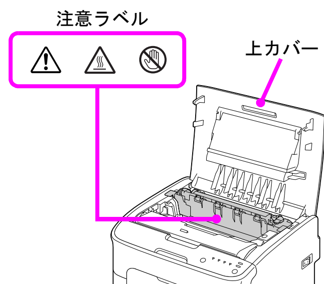
3 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。





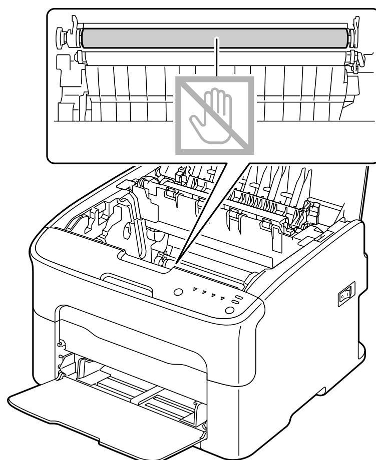
注意

使用中にプリンタの上カバーを開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。また、プリンタ使用中に定着ユニットを取り外すときは、上カバーを開けた状態で 20 分程待ってから作業してください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

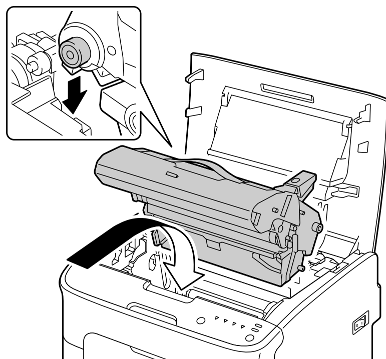


ご注意

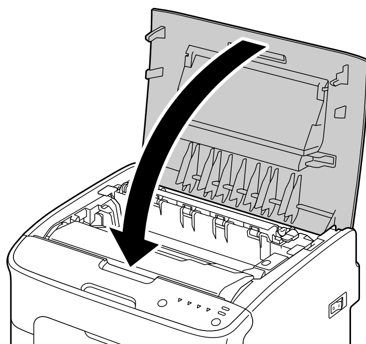
転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。



4 感光体ユニットを差し込んだ後、奥までしっかり押し込みます。



5 上カバーを静かに閉じます。



プリントヘッドの清掃

プリントヘッドが汚れたまま使用すると、印字品質の問題が発生することがあります。

1 以下のいずれかの操作を行って、プリンタの動作モードを「プリントヘッド清掃モード」に切り替えます。

- ［トナー回転］キーを 5 ～ 9 秒間押し続けてから離す。
- リモートパネルプログラムの「パネル」タブで、［P/H 清掃モード］ボタンをクリックする。



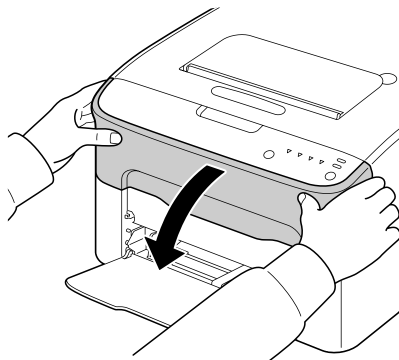
「プリントヘッド清掃モード」に切り替わると、マゼンタのトナーランプが点灯します。



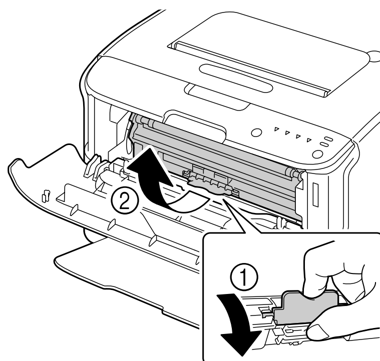
「プリントヘッド清掃モード」は途中で終了できません（［クリア］キーを押しても終了しません）。
誤って「プリントヘッド清掃モード」に切り替えた場合は、（手順 5 ～ 9 を除く）手順 2 ～ 4 と 10 ～ 14 を行って、「プリントヘッド清掃モード」を終了してください。

2 前カバーを開きます。

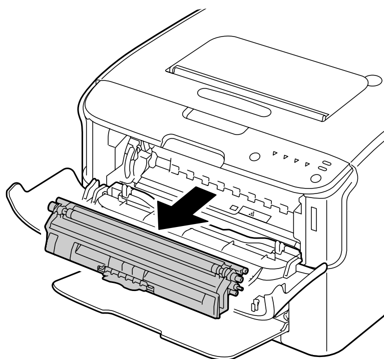
トレイ 1 が開いていない場合はトレイ 1 を開いてから、前カバーを開きます。



3 トナーの交換位置には、マゼンタのトナーカートリッジが来ています。
トナーカートリッジの装着が解除されて手前に少し緩むまで、トナーカートリッジのつまみを引き下げます。
トナーカートリッジを取り外します。

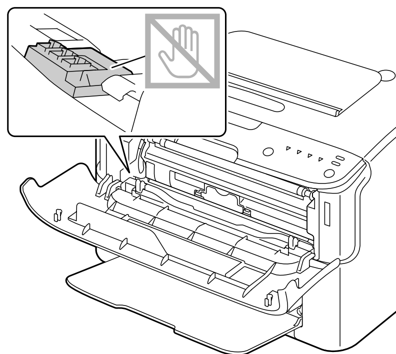


マゼンタのトナーカートリッジを取り外すことで、プリンタ内部に隙間ができ、プリントヘッドの清掃が行いやすくなります。



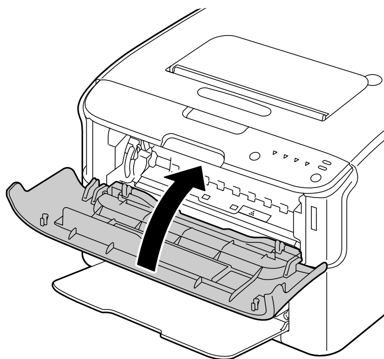
ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。



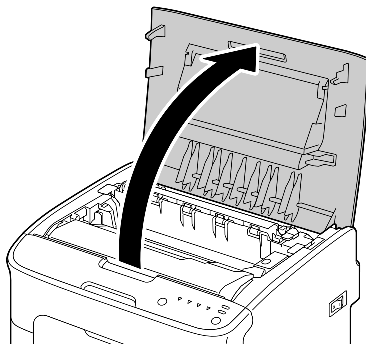
4 前カバーを閉じます。

プリンタの内部でトナーカートリッジが回転します。

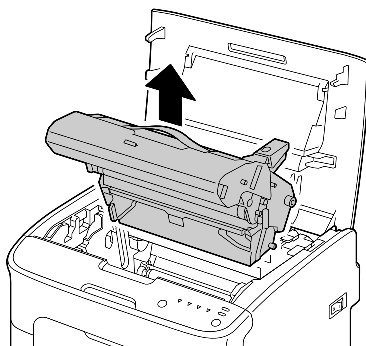


5 トナーカートリッジの回転が終了し、操作パネルのすべてのランプが点滅状態になったら、上カバーを開けます。

排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでから上カバーを開けてください。

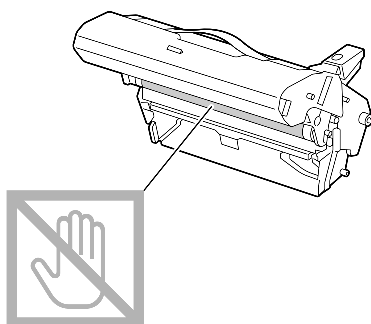


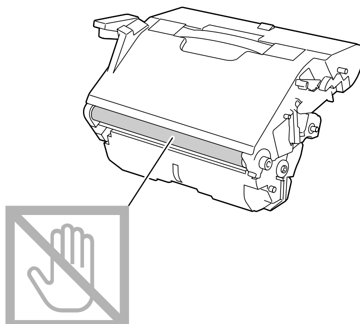
6 取っ手をつかみ、感光体ユニットを上に引き抜きます。



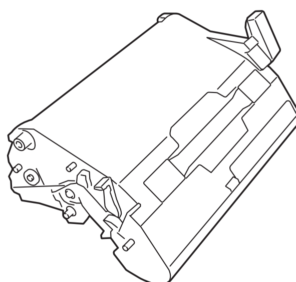
ご注意

感光体ユニットの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

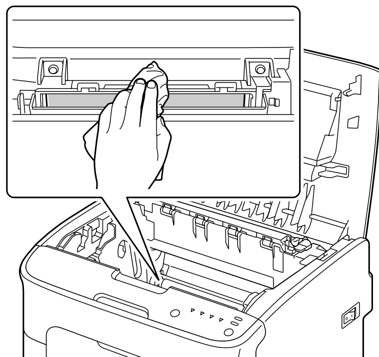




取り外した感光体ユニットは右図の向きで置いてください。
感光体ユニットは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外した感光体ユニットを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。



7 やわらかい乾いた布でプリントヘッドの汚れを拭き取ります。



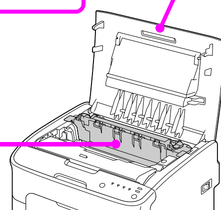


注意

使用中にプリンタの上カバーを開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。また、プリンタ使用中に定着ユニットを取り外すときは、上カバーを開けた状態で 20 分程待ってから作業してください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

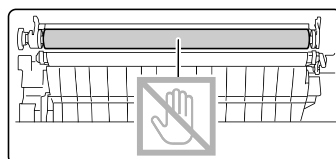
注意ラベル

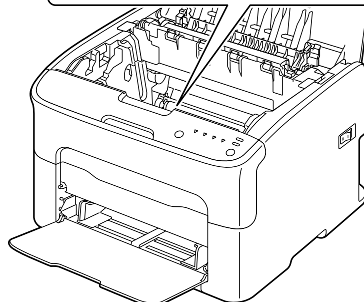




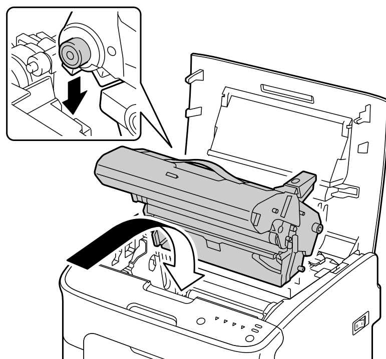
ご注意

転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

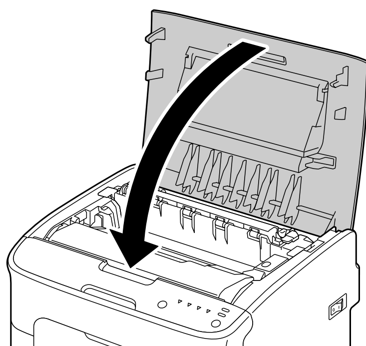




8 感光体ユニットを差し込んだ後、奥までしっかり押し込みます。



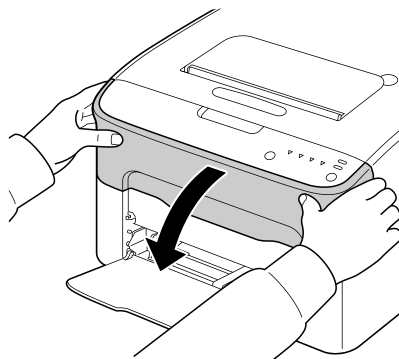
9 上カバーを静かに閉じます。



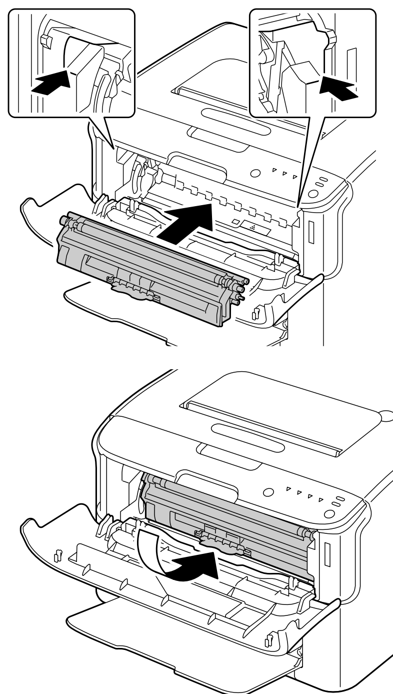
10 ［クリア］キーを押します。

 すべてのランプの点滅状態が終了し、マゼンタのトナーランプが点灯します。
プリンタ内部でトナーカートリッジが回転します。

11 トナーカートリッジの回転が終了したら、前カバーを開けます。

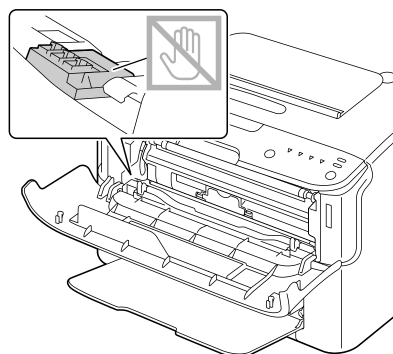


12 トナーカートリッジの両端の軸を軸受けに合わせ、セットします。



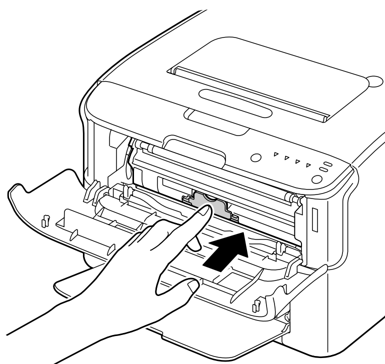
ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。

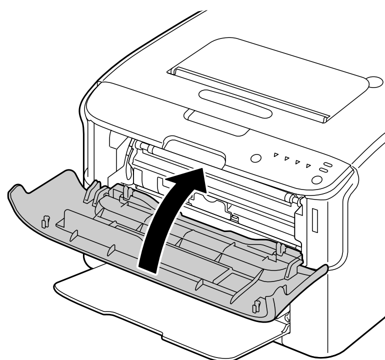


---

13 マゼンタのトナーカートリッジをカチッと音がするまで確実に押し込みます。



14 前カバーを閉じます。



7 トラブルシューティング

はじめに

この章では、プリンタ使用時に問題が起きた場合の解決方法や、困ったときに役立つ情報について説明しています。

紙づまりを防ぐには

確認してください
用紙はプリンタの仕様に合っていますか？
用紙（特に給紙される側）は平らですか？
プリンタは表面が固く、平らで、安定した水平な場所に置いてありますか？
用紙は湿気の多い場所を避けて保管されていますか？
トレイに用紙をセットしたら、常に用紙ガイドを用紙サイズに合わせていますか？（用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、印刷品質の低下や紙づまり、プリンタの破損の原因になります。）
用紙は、印刷する面を上にしてトレイにセットしていますか？（用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印がかかれていることがあります。）

避けてください
折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
重なっている用紙（用紙が重なって給紙される場合は、いったんトレイから取り出し、さばいてください。）
異なる種類・サイズ・坪量の用紙を同時にセットしないでください。
給紙トレイの最大容量以上に用紙をセットしないでください。
排紙トレイの最大容量以上の用紙を置いたままにしないでください。（排紙トレイは最大 100 枚まで排紙できます。100 枚以上の用紙を置いたままにすると、紙づまりの原因になります。）

用紙送りの流れ

プリンタ用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

1　排紙トレイ

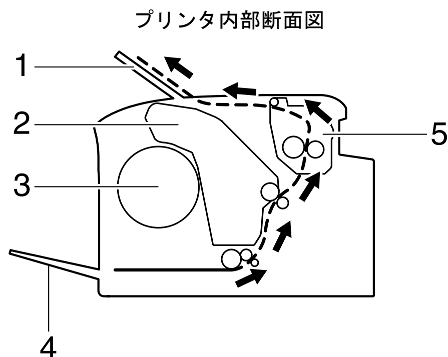
2　感光体ユニット

3　トナーカートリッジラック

4　トレイ 1

5　定着ユニット

プリンタ内部断面図



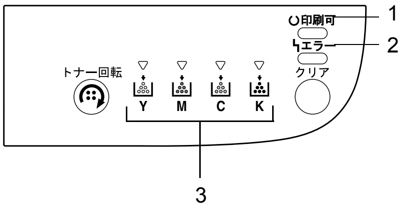
ランプによるメッセージ

操作パネルのランプは、プリンタの状況を示し、問題が起こっている箇所を把握するのに役立ちます。

1［印刷可］ランプ

2［エラー］ランプ

3［トナー］ランプ



ステータスメッセージ（［印刷可］ランプ、［エラー］ランプ）

ステータスメッセージは現在のプリンタの状況を示すメッセージです。プリンタの状況は、リモートパネルプログラムでも確認できます。リモートパネルプログラムについて詳しくは、「リモートパネルプログラムの使いかた」（p.36）をごらんください。

［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	リモートパネルプログラムの表示	状況	処置のしかた
オフ	オフ	-	電源がオフになっている	なし
ゆっくり点滅	オフ	スリープモード	スリープ（節電）モードの状態	なし
点灯	オフ	レディ	印刷可能状態	なし
点滅	オフ	プリントジョブの受信中です。	データの処理中	なし
		プリント中です。	印刷中	
点灯	点灯	-	初期化中（電源投入時）	なし
		-	印刷ジョブのキャンセル中	

警告メッセージ

以下のメッセージは、プリンタで警告状態が発生していることを示します。

［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	［トナー］ランプ（オレンジ）	**リモートパネルプログラムの表示**	**状況**	**処置のしかた**
点灯	オフ	ゆっくり点滅	トナーが残りわずかです。X（YMCK）	トナーがまもなくなくなります。	新しいトナーカートリッジを用意してください。
点灯	ゆっくり点滅	すばやく点滅	非純正品トナーカートリッジ X（YMCK）	エプソン製以外のトナーカートリッジが取り付けられています。 このまま使用すると、印刷品質やトナー残量表示が、エプソン製のトナーカートリッジを使用したときと異なることがあります。	エプソン製のトナーカートリッジとの交換をお勧めします。
点灯	オフ	点灯	トナーがなくなりました。X（YMCK）	トナーがなくなりました。 リモートパネルプログラムの「トナーエンプティ設定」が「オフ」に設定されているときに表示されます。	トナーカートリッジを交換してください。 印刷は継続できますが、印刷結果は保証されません。その後も印刷を続けると、［エラー］ランプ（オレンジ）が点灯し、印刷が停止します。

［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	［トナー］ランプ（オレンジ）	**リモートパネルプログラムの表示**	**状況**	**処置のしかた**
点灯	ゆっくり点滅	*	感光体ユニットが残りわずかです。	感光体ユニットがまもなく寿命です。	新しい感光体ユニットを用意してください。
			T/C メモリ エラー	トナーカートリッジのメモリーエラーが発生しました。	トナーカートリッジを取り外して、もう一度セットし直してください。
			VIDEO I/F エラー	ビデオインターフェースエラーが発生しました。	プリンタの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。
			プロセス エラー（IDC）	処理中に警告が発生しました。	プリンタの上カバーと前カバーを一度開けて閉じてください。 問題が解決しない場合は、プリンタの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。
オフ	ゆっくり点滅	*	感光体ユニットを交換して下さい。	感光体ユニットが寿命です。	感光体ユニットを交換してください。 印刷は継続できますが、印刷結果は保証されません。その後も印刷を続けると、［エラー］ランプ (オレンジ) が点灯し、印刷が停止します。

* トナーの状態によって異なる

エラーメッセージ

以下のメッセージは、プリンタでエラー状態が発生していることを示します。

プリントジョブを継続したり、プリンタを印刷可能な状態にするには、エラーを解決する必要があります。

［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	［トナー］ランプ（オレンジ）	リモートパネルプログラムの表示	状況	処置のしかた
オフ	すばやく点滅	点灯	トナーがなくなりました。/ X（YMCK）トナーを交換してください。	トナーがなくなりました。 リモートパネルプログラムの「トナーエンプティ設定」が「オン」に設定されているときに表示されます。	トナーカートリッジを交換してください。 リモートパネルプログラムの「トナーエンプティ設定」を「オフ」に設定すると、印刷を継続できますが、印刷結果は保証されません。
オフ	点灯	点灯	トナーが入っていません。/ X（YMCK）トナーを確認してください。	トナーカートリッジがセットされていません。	トナーカートリッジをセットしてください。
			トナーが寿命です。	トナーカートリッジが寿命です。	トナーカートリッジを交換してください。
オフ	点灯	すばやく点滅	非純正品トナーカートリッジ　X (YMCK)　クリアキーを押してください。	エプソン製以外のトナーカートリッジが取り付けられています。 このまま使用すると、印刷品質やトナー残量表示が、エプソン製のトナーカートリッジを使用したときと異なることがあります。	エプソン製のトナーカートリッジとの交換をお勧めします。［クリア］キーを押すと、エラーが解除できます。

［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	［トナー］ランプ（オレンジ）	リモートパネルプログラムの表示	状況	処置のしかた
ゆっくり点滅	ゆっくり点滅	*	用紙を確認してください / 用紙を補給してください。（XX）	用紙がありません。	トレイ 1 に用紙をセットして、［クリア］キーを押してください。
				トレイ 1 で紙づまりが発生しました。	つまった用紙を取り除き、［クリア］キーを押してください。
交互にゆっくり点滅		*	用紙サイズエラー / 用紙を確認してください。（XX）	用紙サイズエラーが発生しました。プリンタドライバで設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷されました。	［クリア］キーを押して、エラーを解除してください。 プリンタドライバで設定したサイズの用紙に印刷したい場合は、正しいサイズの用紙をトレイ 1 にセットして、もう一度プリントジョブを実行してください。
オフ	ゆっくり点滅	*	メモリ不足です。	メモリーがいっぱいです。	［クリア］キーを押してください。 問題が解決しない場合は、プリンタの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。
オフ	点滅	*	トップカバーが開いています。/ トップカバーを閉じてください。	前カバーまたは上カバーが開いています。	前カバー、上カバーを閉じてください。
				感光体ユニットがセットされていません。	感光体ユニットを取り付けてください。
オフ	すばやく点滅	*	搬送ローラジャム、ヒータ部ジャム、排紙部ジャム / トップカバーを開けてください。	紙づまりが発生しています。	つまった用紙を取り除き、すべてのカバーを閉じてから、プリントジョブを続行してください。

［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	［トナー］ランプ（オレンジ）	リモートパネルプログラムの表示	状況	処置のしかた
オフ	すばやく点滅	*	プロセスエラー（ベルト）、プロセスエラー（IDC）	処理中にエラーが発生しました。	プリンタの上カバーと前カバーを一度開けて閉じてください。 問題が解決しない場合は、プリンタの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。
オフ	点灯	すべてのランプが点滅	感光体ユニットが寿命です。	感光体ユニットが寿命です。	感光体ユニットを交換してください。

* トナーの状態によって異なる

サービスメッセージ

このメッセージは、カスタマーサービスによる修復が必要な故障を示すメッセージです。

［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	［トナー］ランプ（オレンジ）	リモートパネルプログラムの表示	状況	処置のしかた
すばやく点滅	すばやく点滅	すべてのランプが点滅	サービスコール（XXXX）	サービスコールが必要なエラー	プリンタの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。問題が解決しない場合は、販売店に連絡してください。

紙づまりの処理

故障を防ぐため、紙づまりを起こした用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。大きくても小さくても紙片がプリンタ内に少しでも残ると、用紙送りできなくなり、紙づまりの原因となります。
紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。

ご注意

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、プリンタ内部にトナーをこぼさないでください。



注意

トナーが手や服などに付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは、以下の処置をしてください。

- **皮膚に付着したときは、水や石けんでよく洗い流してください。**
- **衣服に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。**
- **目に入ったときは、水でよく洗い流してください。**
- **口に入ったときは、すぐに吐き出してください。**
  吸引してしまったときは、その環境から離れ、多量の水でよくうがいをしてください。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。

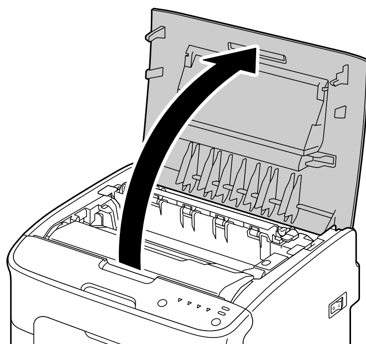
紙づまりの処理をした後でも、操作パネルのランプで紙づまりのメッセージが表示されている場合は、上カバーの開閉を行ってください。

プリンタ内部での紙づまり処理

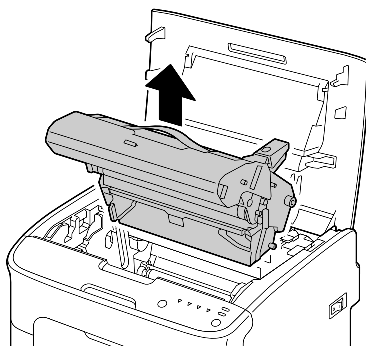
1 上カバーを開けます。



排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでから上カバーを開けてください。

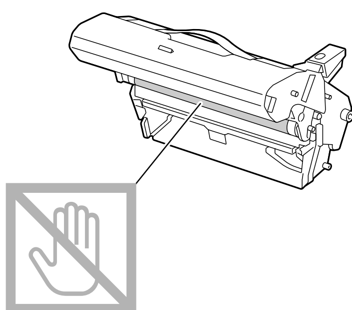


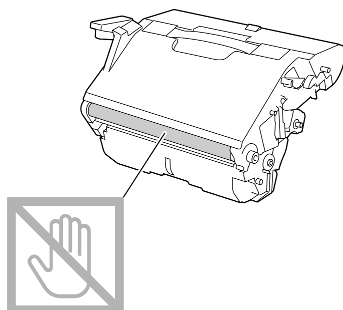
2 取っ手をつかみ、感光体ユニットを上に引き抜きます。



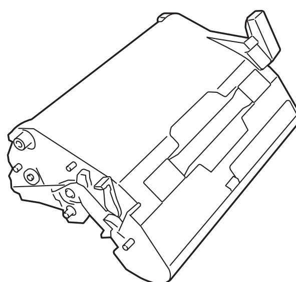
ご注意

感光体ユニットの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

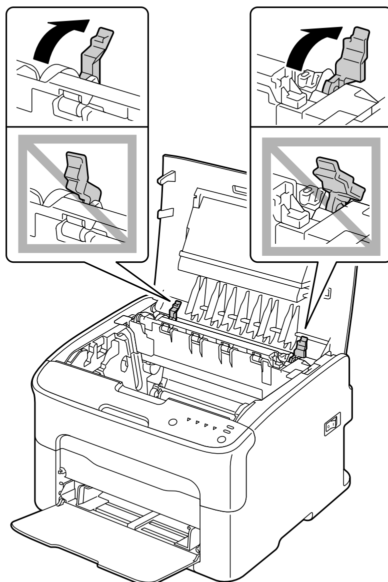




取り外した感光体ユニットは右図の向きで置いてください。
感光体ユニットは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外した感光体ユニットを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。



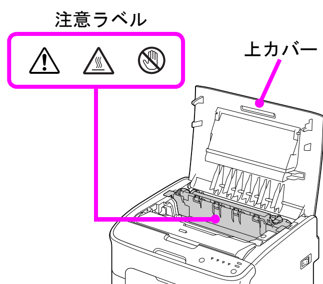
3 左右の定着離間レバーをできるだけ押し上げます。





注意

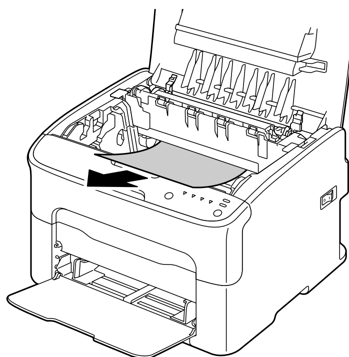
使用中にプリンタの上カバーを開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。また、プリンタ使用中に定着ユニットを取り外すときは、上カバーを開けた状態で 20 分程待ってから作業してください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。



4 つまっている用紙を取り除きます。

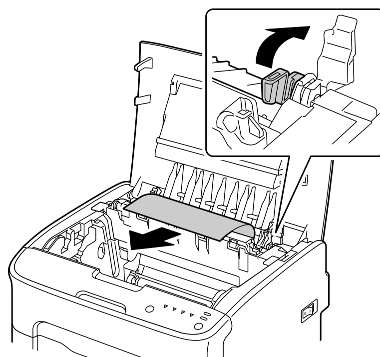


定着ユニット付近で紙づまりが発生している場合、通常は、右のイラストのように定着ユニットの手前方向から用紙を抜き取ってください。



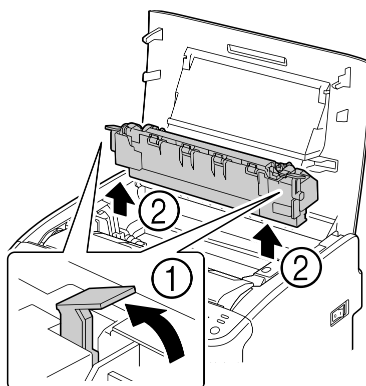


定着ユニットの手前方向から用紙をうまく抜き取れない場合は、定着レバーを持って定着ユニットのカバーを上げ、定着ユニットの奥方向から用紙を抜き取ってください。



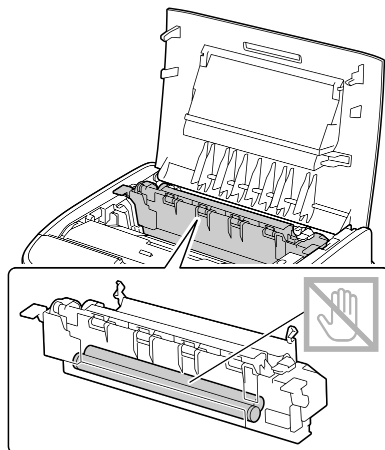


定着ユニット内に用紙が詰まって取り除けない場合は、定着ユニットを外して用紙を取り除いてください。



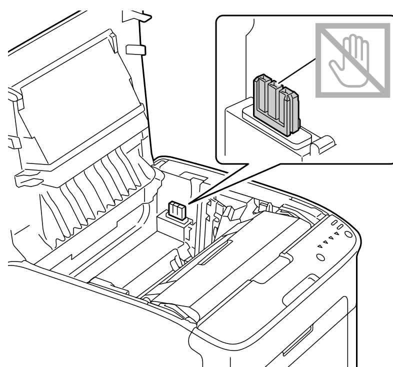
ご注意

定着ユニットの定着ローラーの表面には触れないように注意してください。



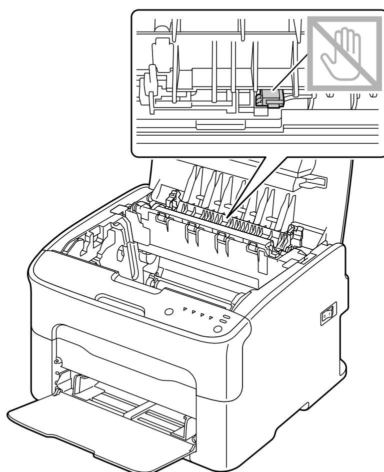
ご注意

定着器のコネクタには触らないように注意してください。



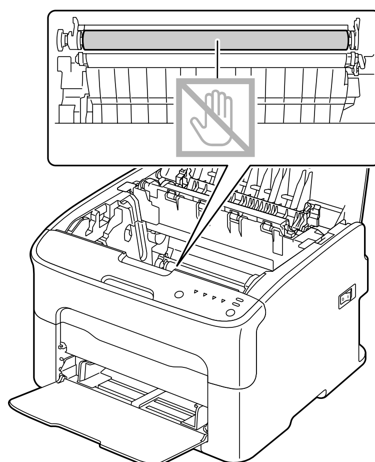
ご注意

定着ユニットの排紙センサーには触れないように注意してください。

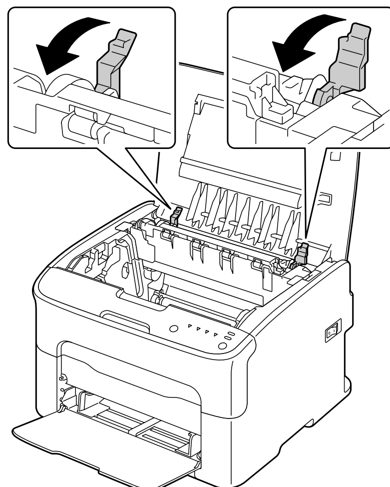


ご注意

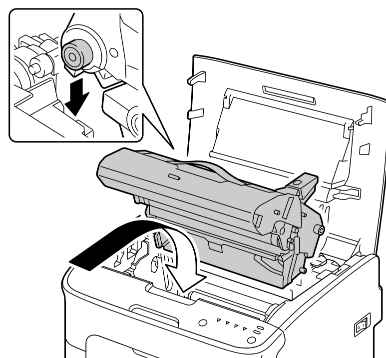
転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。



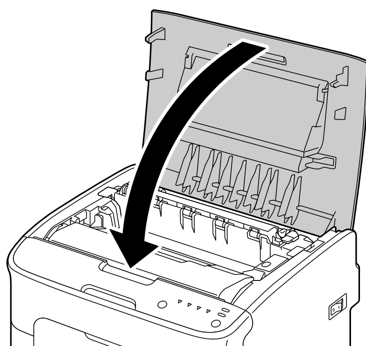
5 左右の定着離間レバーを元の位置に戻します。



6 感光体ユニットを差し込んだ後、奥までしっかり押し込みます。



7 上カバーを静かに閉じます。

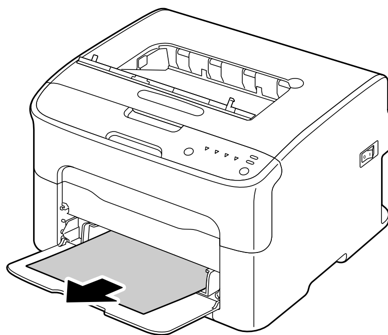


トレイ 1 での紙づまり処理

1 つまった用紙をゆっくりと引出します。



用紙が抜き取れない場合は、無理に引き抜かず、「プリンタ内部での紙づまり処理」（p.109）の手順に従って、用紙を取り除いてください。



2 ［クリア］キーを押します。

紙づまりの問題



特定の場所で紙づまりが頻繁に起こる場合は、その場所について確認、修理、清掃が必要です。また、対応していない種類の用紙を使用すると、紙づまりの原因になります。

症状	原因	処置のしかた
複数の用紙が重なって給紙される	給紙トレイ内で用紙がくっついている。	用紙をよくさばいてからセットしなおしてください。
	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットしなおしてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
紙づまりのランプが消えない	プリンタをリセットする必要がある。	上カバーを開閉してリセットしてください。
	プリンタ内につまった紙、紙片が残っている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。
紙づまりが起きる	給紙トレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙トレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	トレイ内の用紙枚数が最大セット枚数を超えている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、トレイ内の用紙の枚数を減らしてセットしなおしてください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙トレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	給紙トレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。
	ラベル用紙が逆向きにセットされている。	ラベルの向きを正しい向きにセットしてください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	封筒が正しくない向きにセットされている。	封筒はフタを下側にしてセットしてください。
		フタをプリンタ側にしてセットしてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	対応用紙については、「使用できる用紙」（p.48）をごらんください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、「プリンタ内部の清掃」（p.87）をごらんください。

その他の問題

症状	原因	処置のしかた
プリンタの電源が入らない	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントに問題がある。	他の電気機器をそのコンセントに接続して、正しく動作するか確認してください。
	電源スイッチが正しくオン（｜の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にしてから、オン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数がプリンタの仕様に合っていない。	付録「技術仕様」（p.132）に記載されている仕様に合った電源を使用してください。
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間のかかるモード（厚紙など）に設定されている。	厚紙などの特殊な用紙では、印刷に時間がかかります。 普通紙を使用しているときは、プリンタドライバで用紙の種類が普通紙に設定されているか確認してください。
	プリンタがスリープ（節電）モードになっている。	プリンタがスリープ（節電）モードの状態では、印刷するまでに少し時間がかかります。 お待ちください。
	複雑なプリントジョブを処理している。	処理時間を要します。お待ちください。

症状	原因	処置のしかた
白紙が排出される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れているか、トナーがなくなっている。	トナーカートリッジを確認してください。トナーが無いと画像が印刷されません。
	用紙や設定が正しくない。	プリンタドライバで「用紙の種類」が、プリンタにセットされている用紙と合っているか確認してください。
印刷されないページがある	［クリア］キーが押された。	ジョブの印刷中に、［クリア］キーを押さないでください。
	給紙トレイが空になっている。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	フォームを設定して印刷しようとしたときに、不適切なプリンタドライバで作成されたフォームファイルが選択されている。	フォームを設定する場合は、適切なプリンタドライバで書き出したフォームファイルを使用してください。
頻繁にプリンタがリセットされたり電源が切れたりする	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店または弊社に連絡してください。
N-up 設定で 2 部以上印刷する場合に、正しく排出されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で「ソート」の設定がされている。	N-up 設定で 2 部以上の印刷を行う場合、「ソート」の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。

症状	原因	処置のしかた
異常音がする	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	プリンタ内に異物がある。	プリンタの電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店または弊社に連絡してください。
用紙にしわができる	用紙が湿気を帯びている、または用紙が水でぬれている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	転写ローラーまたは定着ユニットが壊れている場合があります。	転写ローラーおよび定着ユニットに損傷がないか確認してください。必要であれば販売店または弊社に連絡してください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	対応用紙については「使用できる用紙」（p.48）をごらんください。
リモートパネルプログラムで「パネル」タブの設定値を初期値に戻す方法が分からない。	―	タスクバーからリモートパネルプログラムアイコンを終了させ、再度リモートパネルプログラムを開いてください。再表示時に画面設定は初期値を表示しますので［適用］をクリックしてください。リモートパネルプログラムの終了方法について詳しくは、「リモートパネルプログラムを閉じる」（p.45）をごらんください。
リモートパネルプログラムで「調整」タブの設定値を初期値に戻す方法が分からない。	―	タスクバーからリモートパネルプログラムアイコンを終了させ、再度リモートパネルプログラムを開いてください。再表示時に画面設定は初期値を表示しますので［アップロード］をクリックしてください。リモートパネルプログラムの終了方法について詳しくは、「リモートパネルプログラムを閉じる」（p.45）をごらんください。

症状	原因	処置のしかた
印刷時に天地が逆で印刷されてしまう	縦書き封筒を使う場合、天地が逆になることがある。	プリンタドライバの［レイアウト］タブより「180 度回転」をチェックし、印刷してください。

印刷品質の問題

症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	プリンタドライバが正しく設定されていない。	普通紙に印刷する場合、プリンタドライバで用紙の種類が普通紙以外に設定されていないか確認し、「普通紙」の設定に変更してください。
	感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	プリンタドライバの用紙設定と実際にプリンタにセットされている用紙が合っていない。	プリンタに正しい用紙をセットしてください。
	電源がプリンタの仕様に合っていない。	仕様に合った電源を使用してください。
	複数の用紙が同時に給紙されている。	給紙トレイから用紙を取り出し、静電気が起きていないか確認してください。用紙をさばいてから給紙トレイに戻してください。
	用紙が給紙トレイに正しくセットされていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえて給紙トレイに戻し、用紙ガイドを調節してください。

症状	原因	処置のしかた
まっ黒または一面カラーで印刷される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。
印刷が薄い Printer	プリントヘッドが汚れている。	プリントヘッドを清掃してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル用紙などに印刷する場合は、プリンタドライバで「用紙の種類」を指定してください。
印刷が濃い Printer Printer Printer Printer	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像がにじむ 背景が汚れる 光沢にムラがある	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。
濃度が均一でない	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている、または壊れている。	トナーカートリッジを交換してください。
	感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。
	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。

症状	原因	処置のしかた
画像にムラがある、または一部分が欠ける	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	対応用紙については、「使用できる用紙」（p.48）をごらんください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	対応用紙については、「使用できる用紙」（p.48）をごらんください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル用紙などに印刷する場合は、プリンタドライバで「用紙の種類」を指定してください。
しみやカスの汚れがある	1 つ以上のトナーカートリッジが正しく装着されていない、または壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	プリンタ内の温度が高い。	リモートパネルプログラムの［パネル］タブで［カラー調整］を［スタート］してください。

症状	原因	処置のしかた
用紙の裏面にしみ汚れがある	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。
		給紙ローラーの交換が必要と思われる場合、販売店または弊社に連絡してください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。
白または黒、カラーの線が同じパターンで現れる	プリントヘッドが汚れている。	プリントヘッドを清掃してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像が欠ける	プリントヘッドが汚れている。	プリントヘッドを清掃してください。
	トナーカートリッジからトナーがもれている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。
横方向に線や帯が現れる	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。
横方向に等間隔で白薄い横線が現れる	トナーの付着が不均一である。	リモートパネルプログラムの「調整」タブにある「画像リフレッシュ」（p.44）を実行してください。 症状が改善されない場合は、販売店もしくは弊社に連絡してください。

症状	原因	処置のしかた
色再現が極端におかしい	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている、または寿命に達している。	トナーカートリッジを取り出し、ローラー部に均等にトナーがのっているか確認し、トナーカートリッジをセットしなおしてください。
色再現が適切でない（色が混ざったり、ページによって色再現が異なるなど）	感光体ユニットが正しく装着されていない。	感光体ユニットを取り出し、再度装着してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
色再現が不十分、または色の濃度が薄い	感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。

もし上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

☞「お問い合せ先」（p.139）

付録 A

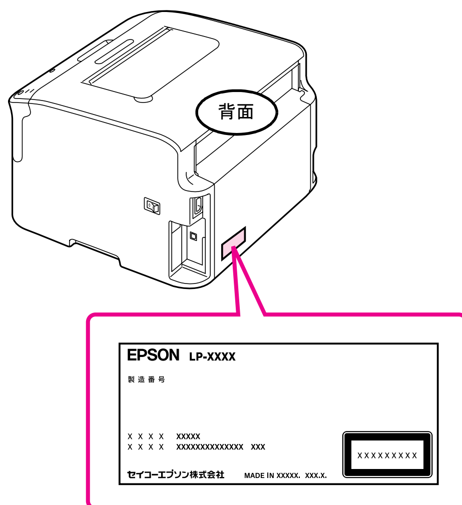
技術仕様

プリンタ本体

形式	デスクトップ型フルカラーレーザービームプリンタ
印刷方式	半導体レーザー + 回転ミラー
現像方式	電子写真方式
定着方式	熱ローラー方式
解像度	1200 dpi × 600 dpi 600 dpi × 600 dpi
ファーストプリント時間（普通紙）	モノクロ：13 秒（A4、レターの場合） フルカラー：22 秒（A4、レターの場合）
プリント速度（普通紙）	モノクロ：19 枚／分（A4、レターの場合） フルカラー：5 枚／分（A4、レターの場合）
ウォームアップ時間	平均 35 秒（室温 23 ℃で電源オンから印刷可になるまでに要する時間）
用紙サイズ	幅：92 ～ 216 mm 長さ： 普通紙：195 ～ 356 mm 厚紙 1/2：184 ～ 297 mm
用紙種類	普通紙（60 ～ 90 g/ ㎡） レターヘッド 封筒 ラベル用紙 厚紙 1（91 ～ 163 g/ ㎡） 厚紙 2（164 ～ 209 g/ ㎡） はがき
給紙容量	普通紙：200 枚 封筒：10 枚 レターヘッド、ラベル用紙、はがき、厚紙 1/2：50 枚
排紙容量	排紙トレイ：100 枚（A4、レターの場合）
動作時の温度	10 ～ 35°C

動作時の湿度	15 ～ 85%
電源	AC100 V、50 ～ 60 Hz
消費電力	最大消費電力：970 W 以下 モノクロ印刷時：440 W 以下 フルカラー印刷時：400 W 以下 待機時：140 W 以下 スリープ（節電）モード時：14 W 以下 電源オフ時：0 W
消費電流	9.7 A 以下
ノイズレベル	印刷時：51 dB 以下（モノクロモード）、49 dB 以下（カラーモード） 待機時：29 dB 以下
外形寸法	高さ：275 mm 幅：404 mm 奥行：380 mm
質量	11.3 kg（消耗品：非装着時） 14.5 kg（消耗品：装着時）
インターフェース	USB 2.0 (High Speed) 準拠
標準メモリ	16 MB
機械寿命	50,000 ページまたは 5 年のいずれか早い方

製造番号の表示位置



保守サービスなどのお問い合わせの際に製造番号が必要になる場合があります。上図のラベル内容を確認してください。

オプションと消耗品一覧

以下は 2010 年 2 月現在の情報です。

オプション

商品名	型番	備考
USB ケーブル	USBCB2	USB2.0/1.1 対応

消耗品

商品名	サイズ	型番	備考
ET カートリッジ　ブラック	M	LPC4T7K	-
ET カートリッジ　シアン	S	LPC4T6C	-
	M	LPC4T7C	-
ET カートリッジ　マゼンタ	S	LPC4T6M	-
	M	LPC4T7M	-
ET カートリッジ　イエロー	S	LPC4T6Y	-
	M	LPC4T7Y	-
感光体ユニット	-	LPC4K6	-
環境推進トナー　ブラック	M	LPC4T7KV	-
環境推進トナー　シアン	M	LPC4T7CV	-
環境推進トナー　マゼンタ	M	LPC4T7MV	-
環境推進トナー　イエロー	M	LPC4T7YV	-
上質普通紙		LPCPPA4	普通紙への印刷において最良の印刷品質を得ることができる用紙 用紙サイズ：A4

環境推進トナーのご案内

環境推進トナーは、セイコーエプソン株式会社がトナーカートリッジ（容器）の所有権を保有し、「環境推進トナー使用許諾契約」に基づき、本製品に充てんされているトナーを使い切るまでの間の使用権を許諾する消耗品です。使用後は、環境推進トナーに添付の案内書をご覧いただき、セイコーエプソン株式会社に必ずご返却ください（送料無料）。

エプソンのホームページでもご確認いただけます。

アドレス　http://www.epson.jp/products/offirio/printer/kankyotoner/

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートの一覧

弊社が行っている各種サービス・サポートは「お問い合わせ先」でご案内しています。

■ マニュアルのダウンロードサービス
製品マニュアル（取扱説明書）の最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。
アドレス　http://www.epson.jp/support/

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず以下のページをお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

☞「トラブルシューティング」（p.99）

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご活用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター

☞「お問い合せ先」（p.139）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

- 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
  年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料についても有償となります）。
- 本機は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代・部品代 * は無償になるため予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料＋技術料＋部品代修理完了後そのつどお支払いください。

* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。

重要

エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディーな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、つど修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合せ先

●エプソンのホームページ http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊ 予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

＊ 修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター：0263-86-7660 ・東京修理センター：042-584-8070 ・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 **050-3155-7150** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00(弊社指定休日含む)および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通航空で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/でご確認ください。

＊年末年始（12/30日～1/3日）の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8055 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8580へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！ **http://myepson.jp/** ▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

● 消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2009年7月現在）

エプソン販売 株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス(LP) 2010. 01

製品に関する諸注意と適合規格

本製品のご使用にあたっての諸注意や法律上のご注意、適合規格などについて説明します。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）
刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

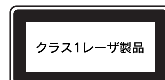
瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格
JIS C 61000-3-2 に適合しています。

レーザー製品の表示



本プリンタは、レーザーの国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 1 レーザー製品です。識別のため、「クラス 1 レーザ製品」と書かれたラベルを製品に貼付しています。通常使用時には、レーザーは内部にありお客様が被ばくすることはありません。

内部のレーザー放射ユニット

本プリンタの内部には、レーザー国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 3B のレーザーダイオードを内蔵していますが、プリントヘッドのレーザー開口部においてはクラス 1 レベルに制御されています。
最大平均放射パワー：13.3 μ W
波長：775 ～ 800nm
レーザー放射ユニットは、内部の見えない場所にあります。指示以外の分解行為は、行わないでください。指示以外の手順による制御や調整は危険なレーザー放射の被ばくをもたらすおそれがあります。

オゾン

ページプリンタの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じることがあります）。印刷中に本機が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（3.0mg/h）を上回ることはありません。ただし、オゾン濃度はプリンタの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境使用条件外での使用
- 狭い部屋での複数ページプリンタの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働

長時間印刷時や大量印刷時には、換気をするようにしてください。

エコマーク物質エミッションに関する試験方法

試験方法

RAL-UZ122：2006

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております消耗品を使用し、印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122：2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

プリンタの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って

廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。